

LOGOSWARE 



LOGOSWARE

THiNQ Maker

操作マニュアル

09 製-TH010014-26

第 26 版 : 2017 年 10 月 12 日 製品バージョン : 1.13.4 以降

第 1 章. はじめに6

1-1.	マニュアルについて	7
1-1-1.	付属マニュアルの構成	7
1-1-2.	そのほかの情報.....	7
1-2.	動作環境.....	8
1-2-1.	作成ソフト側（推奨環境）	8
1-2-2.	閲覧側（推奨環境）	8
1-3.	制限事項.....	10
1-3-1.	重要なお知らせ.....	10
1-3-2.	体験版の制限事項.....	10
1-3-3.	ご契約プランごとの制限事項.....	10
1-4.	LOGOSWARE THiNQ Maker で作れるコンテンツ	11
1-4-1.	基本的なコンテンツ.....	11
1-4-2.	応用コンテンツ.....	12

第 2 章. コンテンツを作る前に..... 13

2-1.	素材を準備しよう（素材規約）	14
2-1-1.	画像ファイル.....	14
2-1-2.	動画ファイル.....	15
2-1-3.	音声ファイル.....	15
2-2.	THiNQ の共通操作	16
2-2-1.	テキスト装飾（リッチテキストエディタ編集）	16
2-2-2.	テキスト装飾（リンク設定について）	17
2-2-3.	ルビ機能（ふりがな編集）	19
2-2-4.	画像・動画・音声の設定のコツ.....	23
2-2-5.	レイアウトの選択のコツ	24

第 3 章. コンテンツを作成する..... 25

3-1. 新規作成・既存コンテンツ編集	26
3-1-1. 新規作成手順.....	26
3-1-2. 既存コンテンツの編集手順.....	27
3-1-3. スタートページの項目説明.....	28
3-2. コンテンツ設定画面	31
3-2-1. 基本設定タブ	31
3-2-2. 画面設定タブ	38
3-2-3. 問題データ設定タブ.....	47
3-3. 問題詳細データ設定画面.....	51
3-3-1. 基本設定タブ	51
3-3-2. 問題設定タブ.....	54
3-3-3. 選択肢設定タブ.....	56
3-3-4. 解説/資料設定タブ.....	63
3-4. 作成したコンテンツを確認する	66
3-5. 作成したコンテンツを保存する	69

第 4 章. コンテンツを公開する 70

4-1. コンテンツ公開の概要.....	71
4-2. Web サーバー/オンラインストレージで公開する	73
4-2-1. 書き出し設定を行う.....	73
4-2-2. Web サーバーでアップロードする (FTP の例)	75
4-2-3. オンラインストレージへアップロードする.....	77
4-3. LMS で公開する.....	80
4-3-1. 書き出し設定を行う.....	80
4-3-2. LMS へアップロードする	85

第 5 章. スコア機能 (簡易履歴管理) 86

5-1. スコアとは?	87
-------------	----

付録 A (環境設定) 88

A1. 自 PC 内のコンテンツを閲覧する方法 (グローバルセキュリティの設定)	89
A2. スキンセットの追加	90
A3. LOGOSWARE THiNQ Maker のアンインストール	93
A4. ワークスペースの変更	94
A5. アップデート機能	95
A6. プレイヤーバージョンを設定する	96
A7. 統計レポート設定	98

付録 B (応用設定) 99

B1. インポート機能	100
B2. コンテンツのテンプレート作成	101
B3. CSV による問題一括登録	102
B4. 問題データ読込/出力 (問題ごとの流用・バックアップ)	103
B4-1. 問題データ出力	103
B4-2. 問題データ読込	104
B5. コンテンツ埋め込み機能	105
B6. コンテンツを CD/DVD で配布する	108
B6-1. オフライン閲覧キットを使用する方法	108
B7. コンテンツを連結する	109
B7-1. コンテンツの連結とは	109
B7-2. リンク先コンテンツへの引き渡し機能	109
B7-3. 連結されたコンテンツを作成する	109

付録 C (仕様) 110

C1. Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの違い	111
その他の注意点	112
C2. コンテンツ用途「アンケート」について	113

C3. LMS 利用時の注意点のまとめ.....	114
--------------------------	-----

お問い合わせ・更新履歴 118

お問い合わせ	119
お問い合わせの前に.....	119
お問い合わせ窓口.....	119
更新履歴.....	120

本書では（ ）のように略名で説明します。

- LOGOSWARE THiNQ Maker (THiNQ Maker)
クイズ作成ソフト
- LOGOSWARE STORM Maker (STORM Maker)
プレゼン型コンテンツ作成ソフト
- LOGOSWARE FLIPPER U (FLIPPER U)
デジタルブック作成ソフト
- LOGOSWARE オンラインストレージ (オンラインストレージ)
公開用 Web サーバー
- LOGOSWARE Platon (Platon)
学習管理システム

第 1 章. はじめに

1-1. マニュアルについて

1-1-2. 付属マニュアルの構成

クイズ・テスト作成ソフト LOGOSWARE THiNQ Maker は、以下の内容で構成されています。

- LOGOSWARE THiNQ Maker セットアップガイド
インストール、ライセンス認証など、ご使用になる前の各種設定を記載した本マニュアルです。
<https://doclib.logosware.com/#/content/303>
- LOGOSWARE THiNQ Maker 簡単チュートリアル
テスト用コンテンツ作成～書き出しまでの基本的な操作マニュアルです。
<https://doclib.logosware.com/#/content/38>
- LOGOSWARE THiNQ Maker 操作マニュアル
LOGOSWARE THiNQ Maker の使用方法を記載したマニュアルです。

1-1-2. そのほかの情報

- FAQ
トラブル情報やよくあるご質問をまとめています。
<http://suite.logosware.com/thing-maker/support/faq/>
- お客さまサポートサイト
無料オンラインセミナー、無料eラーニング、技術情報などを公開しています。
ロゴスウェア製品ご契約の皆様のためのポータルサイトです。
<http://learning.logosware.com/>

1-2. 動作環境

1-2-1. 作成ソフト側（推奨環境）

OS	Windows® 10 Windows® 8、8.1 Windows® 7
メモリ	メモリ 2GB 以上（4GB 以上推奨）
モニタ	解像度 1024×768、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe AIR 2.0 以上のランタイム環境 LOGOSWARE THiNQ Maker インストール時に合わせてインストールされるため、別途準備いただく必要はございません。 ● .NET Framework 3.5 SP1 以上 ● Flash Player® 12 以上
環境	<p>インターネット接続環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ソフトウェア起動時にアップデート情報の確認を行います。 最新プログラムがリリースされている場合は、弊社サーバーよりダウンロードを実行します。 ✓ インストール時には管理者権限のアカウントでログインしている必要があります。

1-2-2. 閲覧側（推奨環境）

1-2-2-1. パソコン

	Windows®	Mac®
OS	Windows®10 Windows® 8、8.1 Windows® 7	Mac OS® X 10.8 以上
モニタ	解像度 1024×768、16 ビット以上を表示可能なカラーモニタ	

ソフトウェア	Internet Explorer10 以上 ※1 Edge 最新版 ※2 Firefox 最新版 Chrome 最新版	Safari 最新版 Firefox 最新版 Chrome 最新版
プラグイン	Flash Player 12 以上 ✓ Flash 用コンテンツを閲覧するときのみ。HTML5 用コンテンツを閲覧する場合は不要。	
環境	インターネット接続環境	

- ✓ OS 及びブラウザの環境につきましては、Adobe Flash Player のシステム条件に依存します。詳細は [Adobe 社 Web サイト](#) でご確認ください。
- ✓ ※1) Internet Explorer11 の注意点は以下をご参照ください
<http://learning.logosware.com/2013/11/05/news-140/>
- ✓ ※2) 一部、機能制限があります。以下をご参照ください
<http://learning.logosware.com/wp-content/uploads/15-OT140519.pdf>

1-2-2-2. スマートフォン/タブレット

対応機種	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 標準ブラウザでの閲覧を前提とします。 ● iPhone: iOS9 以上 ● iPad : iOS9 以上 ● Android : 4.4 以上 Android 対応機種リストはこちら をご覧ください。
------	--

- ✓ 1.9.2 以前の LOGOSWARE THiNQ Maker で作成したコンテンツの場合、Android での動画・音声の再生には FlashPlayer10 以上がインストールされている必要があります。

1-3. 制限事項

1-3-1. 重要なお知らせ

LOGOSWARE THiNQ Maker をご契約、ご利用いただくにあたって、事前に確認していただきたい事柄があります。以下を参照してください。

<https://download.logosware.com/soft/notice/th/13-TH030347-05.pdf>

1-3-2. 体験版の制限事項

体験版では一部の機能が制限されます。以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/213/>

- ✓ コンテンツに「Sample」と表示されます。
- ✓ オンラインストレージを体験版として利用している場合、自動で公開期限が1週間後にセットされます。1週間以上、また無制限に設定することができません。使用容量の上限は50MBです。

1-3-3. ご契約プランごとの制限事項

ご契約のグレード（バリュー／レギュラー／エキスパート）によっては、一部機能が制限されます。以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/202/>

1-4. LOGOSWARE THiNQ Maker で作れるコンテンツ

1-4-1. 基本的なコンテンツ

クイズコンテンツ、アンケートコンテンツ

Flash コンテンツ (パソコンのみ)

HTML5 コンテンツ

(パソコン、スマートフォン、タブレット)



クイズコンテンツ

- 勉強のためのクイズや、理解度テストなどにご利用いただけます。
- 制限時間、問題のシャッフルなど、さまざまな機能を使うことができます。

アンケートコンテンツ

- さまざまなアンケートにご利用いただけます。
 - 基本的な作成方法はクイズコンテンツと同様です。
- ✓ HTML5 コンテンツでは、一部機能が制限されます。
「[C1. Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの違い](#)」をご参照ください。
- ✓ 必ず解説を見せたいコンテンツの場合、HTML5 をお勧めします。HTML5 コンテンツでは、採点后に解説を表示してから先に進みます (判定モード「一問ごと」の場合)。

1-4-2. 応用コンテンツ

必要に合わせて、さまざまなコンテンツを作成できます。

- 結果の履歴を取得する
クイズ、アンケートの履歴を取る方法は2つあります。
- LMS（Learning Management System／学習管理システム）に掲載する
LMSはeラーニングの進捗管理システムです。LOGOSWARE THiNQ Makerコンテンツは、SCORM1.2、2004に対応しているため、これらの規約に準拠するLMSに掲載し進捗を管理できます。詳細は「[4-3.LMSで公開する](#)」を参照してください。
- スコア機能を使う
スコアとは、LOGOSWARE THiNQ Maker（レギュラー版、エキスパート版）の購入者に対して無償提供される簡易履歴蓄積システムです。LMSがなくても履歴を取得できるので、省コストで結果を活かしたいときに最適です。詳細は「[第5章. スコア機能（簡易履歴管理）](#)」を参照してください。



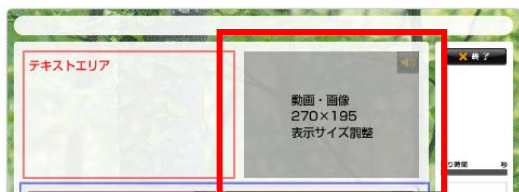
- 簡易パスワード付コンテンツの作成
（詳細は「[4-2-1. 書き出し設定を行う](#)」を参照してください）
- 追加スキンで見栄え、機能を変える
（詳細は「[A2. スキンセットの追加](#)」を参照してください）
- [B6. コンテンツを CD/DVD で配布する](#)

第 2 章. コンテンツを作る前に

2-1. 素材を準備しよう（素材規約）

2-1-1. 画像ファイル

- 挿入可能な画像ファイル形式は、「JPEG」「PNG」「SWF」「GIF」です。
- 自パソコン内の素材をご利用ください。ファイルサーバー上の素材を直接指定すると、正しく登録できません。
- 読み取り専用の画像ファイルは利用できません。
読み取り専用の画像ファイルを使用した場合、画像差し替え時等に画像がグレースケール状態となり、その後の動作が行えなくなる現象が発生します。
 - ✓ 読み取り専用ファイルの確認、およびその解除方法
エクスプローラー上の対象ファイルを右クリックし、表示されるメニューの【プロパティ】を開きます。属性「読み取り専用」の欄のチェックボックスを確認します。チェックが入っている場合は読み取り専用です。
チェックボックスにチェックが入っている場合は、チェックをはずし、適用ボタンをクリックします。
- レイアウト選択画面で「表示サイズ調整」とあるエリアに画像を入れると、自動的にサイズを調整します。ただし、表示サイズと画像サイズが著しく異なる場合、きれいに調整されないことがあります。その場合は、ある程度表示サイズに近付けたサイズで画像をご用意ください。



- PowerPoint を使って画像を作成するノウハウをまとめた資料は、以下を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/54/>
- SWF ファイルは Flash8 以降の Flash Player で動作するものならば利用可能です。ただし、SWF ファイルの設定によっては、コンテンツ表示上で問題になる場合があります。（ご使用の際は十分な表示確認を行ってください。）
オーサリング時の Flash 上で表示サイズ（例：200×200 ピクセル）を設定してパ

ブリッシュできますが、実際に書き出された SWF の表示サイズは内部に含まれる MovieClip の位置やサイズに影響を受けます。（SWF の表示サイズは見えている表示サイズとは異なる場合があります）

これにより THiNQ コンテンツ内で指定した表示位置やサイズに不具合が生じる場合があります。

2-1-2. 動画ファイル

- 挿入可能なファイル形式は、「FLV」です。
- 自パソコン内の素材をご利用ください。ファイルサーバー上の素材を直接指定すると、正しく登録できません。

2-1-3. 音声ファイル

挿入可能なファイル形式は「MP3」です。

- 自パソコン内の素材をご利用ください。ファイルサーバー上の素材を直接指定すると、正しく登録できません。

2-2. THiNQ の共通操作

ここでは、LOGOSWARE THiNQ Maker を操作するうえで様々なところに登場する共通操作をご紹介します。

2-2-1. テキスト装飾（リッチテキストエディタ編集）

LOGOSWARE THiNQ Maker では、通常のテキスト入力に加え、リッチテキストによるテキストデータの編集ができます。

1. 【編集】ボタンをクリックします。



2. テキストを入力後、【保存】ボタンをクリックします。



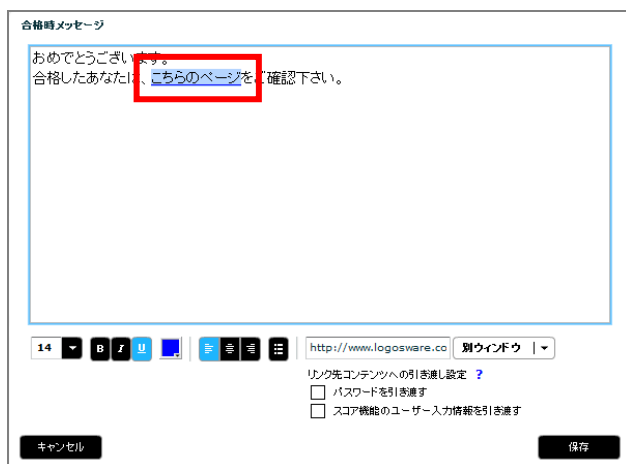
設定できる項目は以下の通りです。

フォントサイズ変更、太字 (B)、斜体 (I)、アンダーライン (U)、色の変更 (パレット上で色を選択)、テキストの左揃え、中央揃え、右揃え、箇条書き、リンク設定

2-2-2. テキスト装飾 (リンク設定について)

テキスト装飾画面で、リンクの設定ができます。

1. リンクを設定したいテキスト範囲をドラックで選択します。



2. URL を入力します。



- ✓ URL リンクを設定した場合、テキストに下線と色 (青) が自動的に付きます。
- ✓ LOGOSWARE THiNQ Maker の【表示】ボタンからは、URL リンクが開きません。
- ✓ リンクが設定されているテキスト箇所にはルビ機能が使用できません。

ワンポイント

- リンク先コンテンツへの引き渡し設定とは？

URLに指定したリンク先がSTORMまたはTHiNQコンテンツの場合に有効な設定です。このコンテンツで入力された「パスワード」および「スコア機能のユーザー入力情報」をコンテンツに引き渡すことができます。



詳細は、「[B7.コンテンツを連結する](#)」をご参照下さい。

- パスワードを引き渡す
チェックをつけると、THiNQ コンテンツ上で入力したパスワードの情報を次のコンテンツに引き渡すことができます。
- スコア機能のユーザー入力情報を引き渡す
チェックをつけると、受講者が入力したユーザー入力情報を次のコンテンツに引き渡すことができます。

2-2-3. ルビ機能（ふりがな編集）

LOGOSWARE THiNQ Maker では、テキストにルビを振ることができます。

1. 【 ふりがな 】 ボタンをクリックします。



2. ふりがな入力欄にルビを入力します。



3. ルビを振りたい箇所をマウスでドラッグして選択状態にします。



4. 【ふりがな追加】ボタンをクリックします。



5. 【保存】ボタンをクリックします。



- ✓ ルビ機能は、Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの両方に対応しています。ただし、HTML5 コンテンツでは、以下の制限があります。
 - iOS4.3 以上、Android 4 以上
PC版コンテンツと同様にテキスト上部にルビが表示されます。
例：理解度^{りかいど}チェックテスト
 - Android 4 未満
テキスト後部に括弧書きでルビが表示されます。
例：理解度（りかいど）チェックテスト
- ✓ ルビ機能が使用できる項目は以下の通りです。
開始画面の案内／説明テキスト、結果画面の合格時メッセージ・不合格時メッセージ、結果画面の得点別表示テキスト、問題画面の問題テキスト(すべての選択肢タイプ)、選択肢テキスト(択一プッシュボタン、択一ラジオボタン、複数選択チェック)、解説画面テキスト、資料画面テキスト
但し、リンクが設定されているテキスト個所にはルビ機能が使用できません。
- ✓ ルビを削除する方法は以下の2通りあります。
 - 個別にルビを削除する場合

削除したいルビの選択範囲(ピンク色)をクリックします。

ふりがな設定

①ふりがな入力

②ふりがな設定するテキストをマウスで選択状態にして「ふりがな追加」ボタンを押す

りかいど
理解度チェックテストです。

「開始」ボタンをクリックして解答を始めてください。

※ふりがな設定したテキスト部分をクリックすると個別にふりがなを削除できます。

- 一括ですべてのルビを削除する場合
【ふりがなすべて削除】ボタンをクリックします。

ふりがな設定

①ふりがな入力

②ふりがな設定するテキストをマウスで選択状態にして「ふりがな追加」ボタンを押す

りかいど
理解度チェックテストです。

かえし
「開始」ボタンをクリックして **解答**を **はじ**めてください。

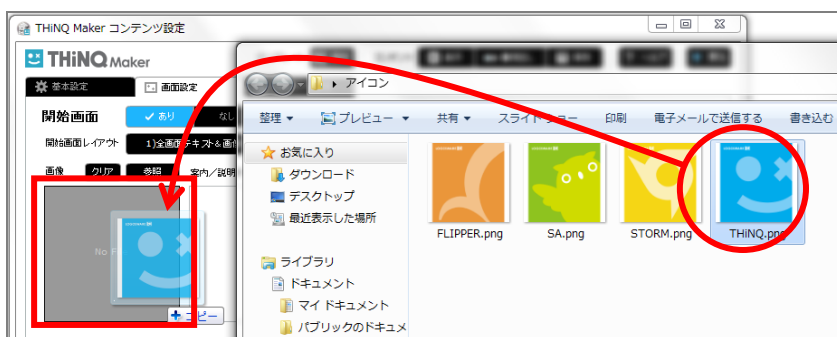
※ふりがな設定したテキスト部分をクリックすると個別にふりがなを削除できます。

2-2-4. 画像・動画・音声の設定のコツ

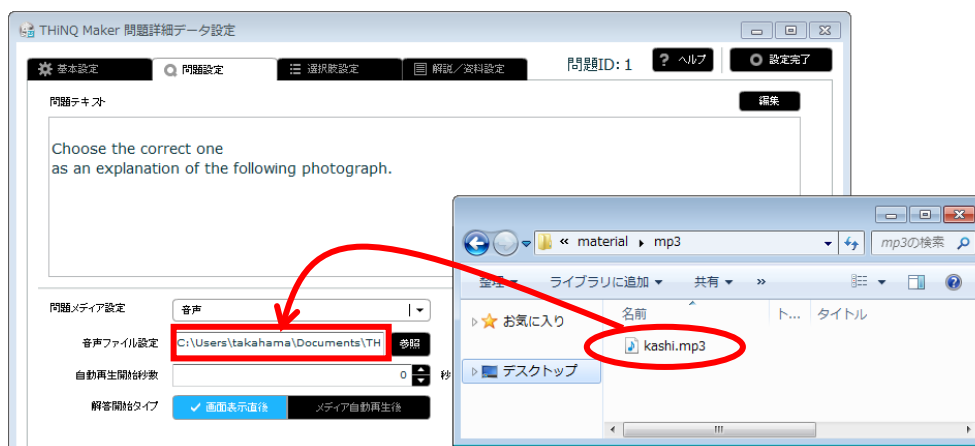
画像、動画、音声を登録する際に、【参照】ボタンから選択するだけでなく、ドラッグ&ドロップでもファイルを指定できます。

- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

● 画像の例



● 動画・音声の例



2-2-5. レイアウトの選択のコツ

Flash コンテンツでは、レイアウトを変更することで画像、文章、選択肢などの表示位置を変更できます。ここでは、レイアウトを選択するときのコツをご紹介します。

✓ HTML5 コンテンツではレイアウト選択は無効です。

1. 任意の画面レイアウトボタンをクリックします。（問題画面レイアウトの例）



2. 使用するレイアウトを、サンプル画像を参考に選択します。

サンプル画像の見方は以下の通りです。

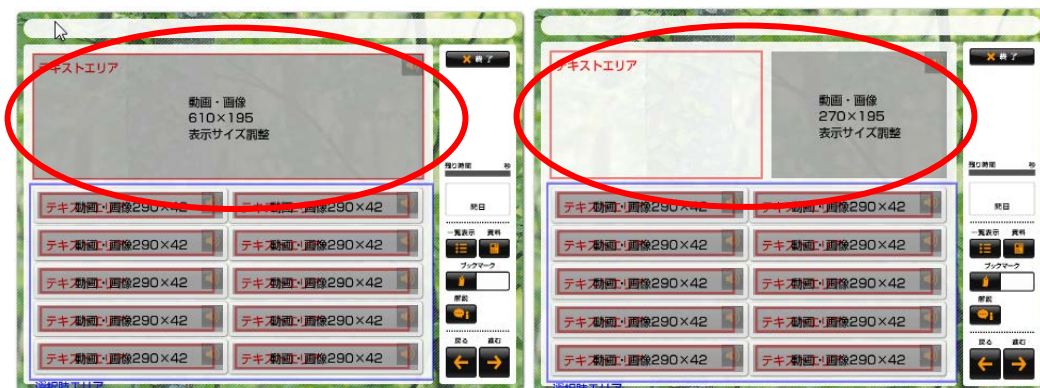
- 赤枠部分： 指定したテキストが表示されるエリアです。
- 灰色部分： 指定した画像、音声、動画などが配置されるエリアです。

画像類の上にテキストが表示)

テキストが左に画像類が右に)

テキストや画像類を大きく出したい時

テキストと画像類を分けて出したい時



✓ テキストや画像類は、必ず使用しなければいけないわけではありません。設定されたときに表示される位置を表しています。

3. 最後に【 設定完了 】ボタンをクリックします。

第 3 章. コンテンツを作成する

3-1. 新規作成・既存コンテンツ編集

3-1-1. 新規作成手順

1. LOGOSWARE THiNQ Maker を起動します。
2. スタートページで【新規作成】ボタンをクリックします。



3. 「新規コンテンツ情報設定」画面で設定を行います。
その後、【OK】ボタンをクリックします。

- フォルダ名 (英数字のみ)
THiNQ 内部にデータを保存するときのフォルダ名を半角英数字で指定します。
- コンテンツ名
コンテンツのタイトルを指定します (閲覧者に表示されます)。
- 用途
クイズを作成するか、アンケートを作成するか選択します。

ワンポイント

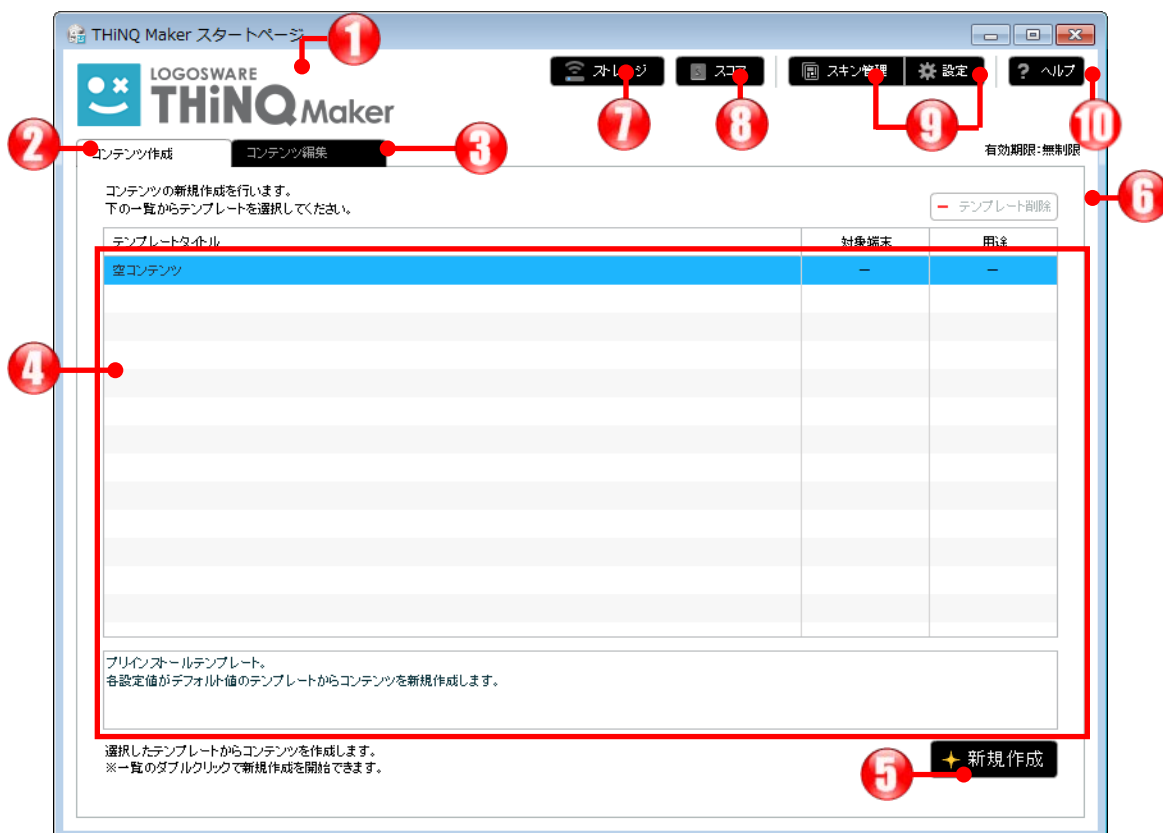
- 用途を変更したい場合はコンテンツをテンプレートとして保存し、テンプレート一覧からコンテンツを選択します。「新規コンテンツ情報設定」画面が表示されますので、用途を変更し【OK】ボタンをクリックします。テンプレートについては「[B2. コンテンツのテンプレート作成](#)」を参照してください。
- アンケートの場合は、強制的に設定される項目があります。詳細は「[C2. コンテンツ用途「アンケート」について](#)」を参照してください。

3-1-2. 既存コンテンツの編集手順

一度保存したコンテンツは「コンテンツ編集」タブにリスト表示されます。編集対象をダブルクリックか、選択して、下部の【編集】ボタンをクリックすると編集できます。



3-1-3. スタートページの項目説明



LOGOSWARE THiNQ Maker ロゴマーク

クリックすると、バージョンなどのアプリケーション情報が表示されます。

- ① コンテンツ作成タブ
コンテンツの新規作成画面が表示されます。
- ② コンテンツ編集タブ
コンテンツの編集画面が表示されます。
- ③ テンプレートリスト
テンプレートを作成すると一覧に表示されます。初期状態は [空コンテンツ] のみが表示されています。テンプレートを選択すると、下部にテンプレートの説明が表示されます。
 - ✓ テンプレートの作成方法については、付録「[B2. コンテンツのテンプレート作成](#)」を参照してください。

④ 新規作成ボタン

「新規コンテンツ情報設定」画面が表示され、作成を開始します。

⑤ テンプレート削除ボタン

選択中のテンプレートが削除されます。[空コンテンツ] は削除できません。

⑥ ストレージボタン

- オンラインストレージのライセンスを認証済みの場合、オンラインストレージの管理画面を開きます。オンラインストレージ画面については「[4-2-3. オンラインストレージへアップロードする](#)」を参照してください。
- 未認証の場合、以下の画面が表示されます。【オンラインストレージ体験版登録】をクリックすると、1ヶ月間無料で体験できます（1回限り）。

メッセージ

この機能のご利用には別途オンラインストレージ用ライセンスをご購入いただく必要があります。体験版もございますので下の「オンラインストレージ体験版登録」ボタンからユーザー登録の上、お試しください。（※体験版利用可能な場合にボタンが有効となります。）

※オンラインストレージとは、作成したコンテンツを簡単にインターネット公開する機能です。詳しくは[オンラインストレージ紹介ページ](#)をご参照ください。

※オンラインストレージ用ライセンスのご購入については[購入用ページ](#)から、または弊社セールス担当<sales@logosware.com>までご連絡ください。

開じる **オンラインストレージ体験版登録**

オンラインストレージ体験版 ユーザー登録

氏名 *

会社名 *

部署名

メール *

電話 *

キャンセル 登録

⑦ スコアボタン

スコア管理画面を開きます。スコア機能については「[第5章 スコア機能（簡易履歴管理）](#)」を参照してください。

- ✓ スコア機能は、レギュラー版、エキスパート版をご契約の方のみお使いいただける機能です。バリュー版、体験版をご利用の場合、ボタンは表示されません。

⑧ スキン管理/設定ボタン

スキン管理や設定画面が表示されます。

- ✓ エキスパート版のみスキンを追加することができます。
- ✓ スキンの追加は、付録「[A2. スキンセットの追加](#)」を参照してください。
- ✓ 設定画面については、付録「[A4. ワークスペースの変更](#)」「[A5. アップデート機能](#)」「[A6. プレイヤーバージョンを設定する](#)」「[A7. 統計レポート設定](#)」を参照してください。

⑨ ヘルプボタン

本マニュアル（PDF ファイル）が表示されます。

3-2. コンテンツ設定画面

コンテンツ設定画面には3つのタブがあります。それぞれのタブを設定します。

3-2-1. 基本設定タブ

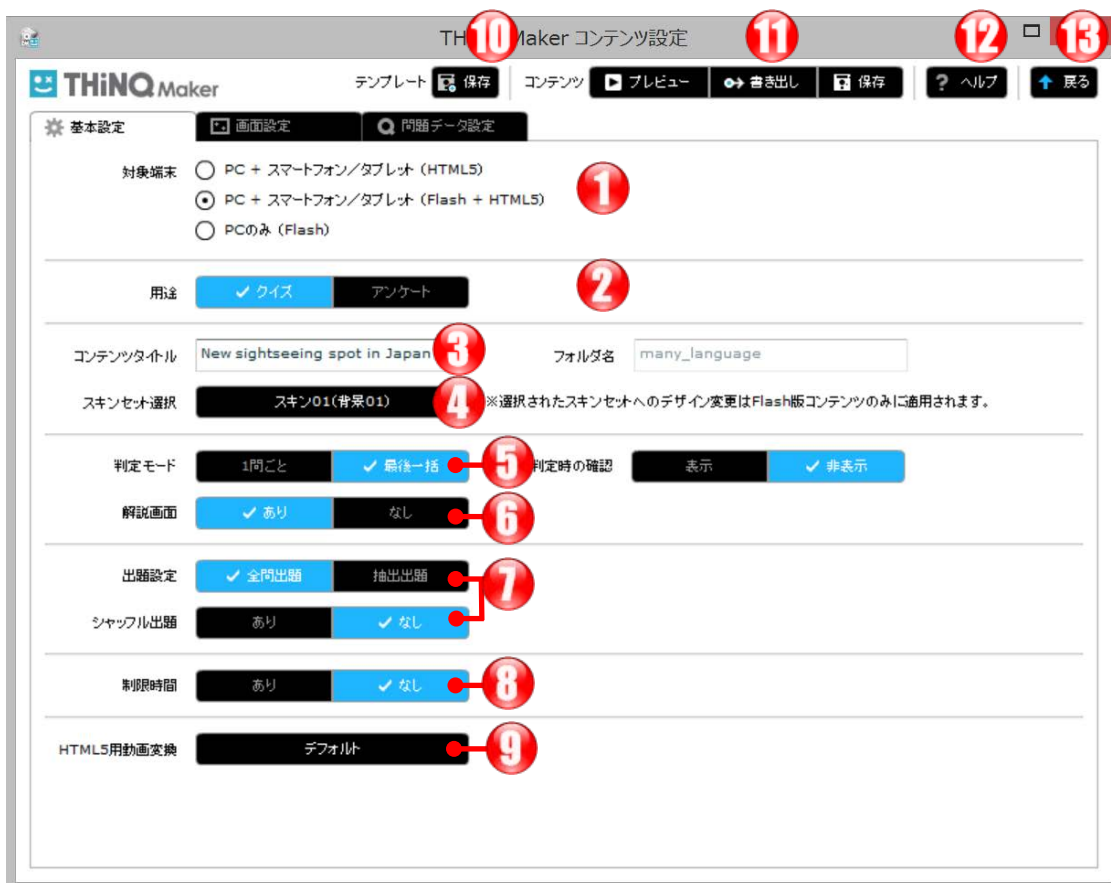
3-2-1-1. 基本設定タブの設定手順

コンテンツの動作を設定するタブです。

次の「基本設定タブの項目説明」を参照して、それぞれの項目を設定していきます。

3-2-1-2. 基本設定タブの項目説明

クイズの場合



アンケートの場合



✓ アンケートはクイズと比較して設定項目が少ないです。詳細は「[C2. コンテンツ用途「アンケート」について](#)」を参照してください。

✓ 「HTML5 用動画変換」は、対象端末として「PC のみ (Flash)」を選択した場合は表示されません。

✓ HTML5 コンテンツでは、一部機能が制限されます。詳細は「[C1. Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの違い](#)」を参照してください。

① 対象端末

対象端末と、コンテンツ形式を選択します。

- PC + スマートフォン/タブレット (HTML5)
パソコン、スマートフォン、タブレット閲覧時、HTML5 のコンテンツを表示します。
- PC + スマートフォン/タブレット (Flash + HTML5)

- ☞ パソコンで閲覧する際は Flash コンテンツを表示します。
パソコンに利用可能な Flash Player がインストールされていない場合、HTML5 コンテンツを表示します。
- ☞ スマート、フォンタブレットで閲覧時、HTML5 コンテンツを表示します。
- PC のみ (Flash)
パソコン閲覧時、Flash コンテンツを表示します。
パソコンに Flash Player がない場合、コンテンツは表示できません。
- ✓ HTML5 コンテンツでは一部機能が制限されます。制限事項の詳細は「[C1. Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの違い](#)」参照してください。

② 用途

新規コンテンツ情報設定で設定した用途が選択されています。後から変更することはできません。

- ✓ 用途を変更したい場合はコンテンツをテンプレートとして保存し、テンプレート一覧からコンテンツを選択します。「新規コンテンツ情報設定」画面が表示されますので、用途を変更し【OK】ボタンをクリックします。テンプレートについては「[B2. コンテンツのテンプレート作成](#)」を参照してください。

③ コンテンツタイトル/フォルダ名

新規コンテンツ情報設定で入力したコンテンツのタイトルが表示されます。修正の必要があれば修正します。

- ✓ フォルダ名は変更できません。

④ スキンセット選択 (Flash コンテンツのみ有効)

- ✓ スキンセットとは、コンテンツ全体の基本デザイン (背景やプレーヤー上のボタン配置) を決定するものです。スキンセット中には、開始画面や問題 (選択肢タイプ) ごとに、異なるレイアウトが複数種類用意されており、出題内容等に応じて自由にレイアウトを選択することができます。
- ✓ 本設定は、Flash コンテンツで有効です。
HTML5 コンテンツでは変更しても表示は変わりません
- ✓ バリ्यू版では利用できるスキンセットは 1 種類です。

右側のサンプル画像を参考にしながら、好きなスキンセットを選択します。



✓ スキンセットは、以下の3つの視点から選択します。

➡ 背景画像 (背景 01~04)

それぞれ絵柄が異なります。

➡ 問題文と選択肢の配置 (スキン 01/02 は横分割、スキン 03/04 は縦分割)

スキン 01 の例



スキン 03 の例

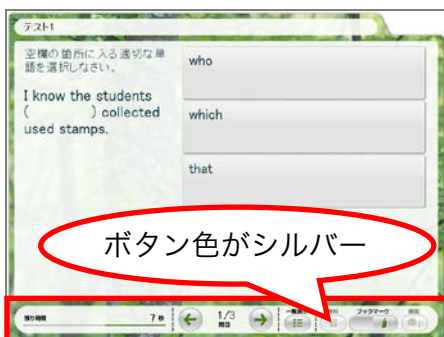


➡ ボタン色 (スキン 01/03 は黒、スキン 02/04 はシルバー)

スキン 01 の例



スキン 04 の例



⑤ 判定モード

判定のタイミングを「1問ごと」にするか、「最後一括」にするか設定できます。

- ✓ アンケートコンテンツは「最後一括」のみです。
- ✓ 「1問ごと」を選択すると、問題のスキップの設定が表示されます。「不許可」を選択すると、判定しないと次の設問に進めません。

問題のスキップ 許可 不許可

- ✓ クイズコンテンツで「最後一括」を選択した場合と、アンケートコンテンツでは「判定時の確認」を設定できます。

「表示」を選択すると、判定ボタンを押したときに判定を実行してもよいか確認のメッセージを出します。

「非表示」を選択すると、判定ボタンを押したときに確認メッセージを表示せずに判定を行います。

判定時の確認 表示 非表示

⑥ 解説画面

各問題に解説画面を表示するかどうか設定します。

- ✓ アンケートコンテンツは「なし」のみです。

⑦ 出題設定

- ✓ アンケートコンテンツは「全問出題」のみです。また、シャッフル出題は無効です。

- 全問出題：問題データ設定画面で登録したすべての問題を出題します。

- ✓ 「全問出題」を選択すると、シャッフル出題の設定が表示されます。コンテンツを表示するたびに、問題をシャッフル出題するか、作成した問題順に出題するか設定することができます。

シャッフル出題 あり なし

- 抽出出題：問題データ設定画面で登録した問題より、設定した数の問題をランダムに出題します。

✓ 「抽出出題」を選択すると、問題抽出タイプの設定が表示されます。

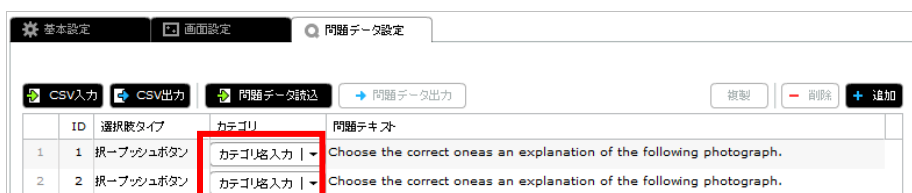
➡ 「全問から」：問題抽出数と各問配点、合格点を設定します。



➡ 「各カテゴリから」：カテゴリの数、カテゴリ名称、問題数、各問配点と合格点を設定します。



問題がどのカテゴリに所属するかは、「問題データ設定」タブで設定します。



⑧ 制限時間

コンテンツに制限時間を設定することができます。

✓ 「あり」を選択すると、制限時間タイプの設定が表示されます。

➡ 全体



⑨ 各問

「問題データ設定」タブで、1問毎に制限時間を設定します。



- ✓ 各問制限時間初期値に秒数を設定すると、設問を新規に追加した時の初期値として利用されます。

⑨ HTML5用動画変換（対象端末「PC+スマートフォン/タブレット」の場合に表示）HTML5コンテンツを書き出す際、コンテンツにFLV動画が入っていると、MP4形式に変換します。変換の際どの品質で変換するか設定できます。

- － デフォルト
- － 高品質
- － 標準品質
- － 低品質
- － カスタム（動画ビットレート、音声サンプルレート、音声ビットレート）

⑩ テンプレート保存

表示中のコンテンツをテンプレートとして保存することができます。詳細は「[B2.コンテンツのテンプレート作成](#)」を参照してください

⑪ コンテンツ：表示／書き出し／保存

ボタンにより、それぞれ以下の処理が実行されます。

- プレビュー

作成中のコンテンツをプレビュー表示することができます。表示すると同時に保存されます。コンテンツ作成中に、その都度内容を確認することができます。

- 書き出し

公開のために、コンテンツを書き出します。詳細は「[第4章.コンテンツを公開する](#)」を参照してください。

- 保存

コンテンツを保存することができます。

- ⑫ ヘルプ 本書が開かれます。
- ⑬ 戻る スタートページに戻ります。
 ✓ 編集中の内容を保存するか、確認メッセージが表示されます。

3-2-2. 画面設定タブ

3-2-2-1. 画面設定タブの設定手順

画面設定では、設問の前後につく画面を設定します。

- 開始画面 コンテンツの開始画面です。

Flash コンテンツ



HTML5 コンテンツ



- 結果画面 クイズ判定後の画面です。

合否別結果画面の例

Flash コンテンツ

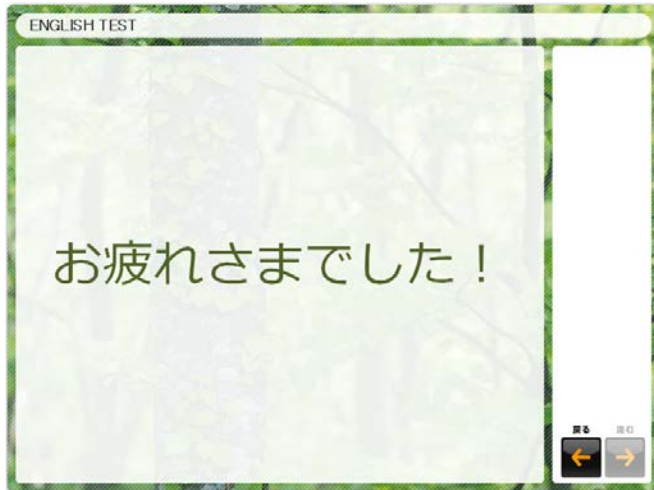


HTML5 コンテンツ



- ✓ アンケートコンテンツでは合格点は表示されません。

- 最終画面 （対象端末「PCのみ（Flash）」のみ設定可能）



次の「画面設定タブの項目説明」を参照して、それぞれの項目を設定していきます。

3-2-2-2. 画面設定タブの項目説明

クイズの場合

The screenshot shows the 'THiNQ Maker コンテンツ設定' (THiNQ Maker Content Settings) window. The '画面設定' (Screen Settings) tab is active. The interface is organized into three main sections, each with a 'No File' placeholder image and various configuration options. Red circles with numbers 1 through 11 highlight specific UI elements.

- 開始画面 (Start Screen):**
 - 1: '開始画面' (Start Screen) toggle, currently set to 'あり' (Yes).
 - 2: '開始画面レイアウト' (Start Screen Layout) dropdown, currently set to '1) 全画面テキスト&画像' (Full screen text & image).
 - 3: Placeholder image for the start screen.
 - 4: 'ふりがな' (Furigana) and '編集' (Edit) buttons for the start screen image.
 - 5: '結果画面レイアウト' (Result Screen Layout) dropdown, currently set to '1) 結果一覧' (Result list).
- 結果画面 (Result Screen):**
 - 6: '表示する項目' (Items to display) checkboxes: '得点' (Score), '合格/不合格' (Pass/Fail), and '正解/不正解' (Correct/Incorrect).
 - 7: '合格時メッセージ' (Message when passing) text area and 'ふりがな' (Furigana) and '編集' (Edit) buttons.
 - 8: Placeholder images for '合格時表示画像' (Image when passing) and '不合格時表示画像' (Image when failing).
- 最終画面 (Final Screen):**
 - 9: '最終画面' (Final Screen) toggle, currently set to 'あり' (Yes).
 - 10: '最終画面レイアウト' (Final Screen Layout) dropdown, currently set to '1) 画像スクロール表示' (Image scroll display).
 - 11: Placeholder image for the final screen.

アンケートの場合



● 開始画面

① 開始画面

コンテンツ開始画面の有無を設定します。

② 開始画面レイアウト（Flash コンテンツのみ有効）

使用するレイアウトを選択します。

- ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。

③ 画像

画像を利用したい時に設定します。ファイルをドラッグ&ドロップしても指定できます。

- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

④ 案内／説明テキスト

開始画面に表示するテキストを設定します。

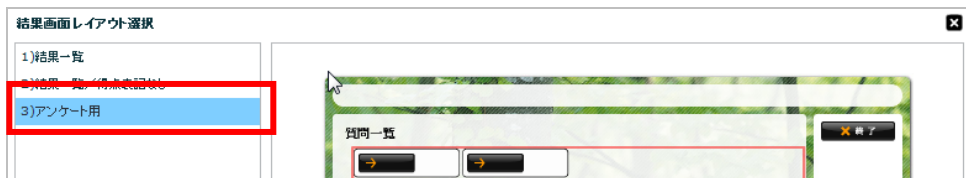
- ✓ 【編集】ボタンや【ふりがな】ボタンをクリックすると、文字を装飾できます。詳細は「[2-2-1. テキスト装飾（リッチテキストエディタ編集）](#)」または「[2-2-2. ルビ機能（ふりがな編集）](#)」を参照してください。

● 結果画面

⑤ 結果画面レイアウト（Flash コンテンツのみ有効）

使用するレイアウトを選択します。

- ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。
- ✓ アンケートの場合は、アンケート用の画面レイアウトを選択してください。



⑥ 表示する項目（「クイズ」用途のみ設定が可能）

結果画面に表示する項目を選択します。

- ✓ 「得点」にチェックを付けると、判定結果の点数と正解率を表示します。
- ✓ 「合格／不合格」にチェックを付けると、判定結果に応じて合格／不合格を表示します。
- ✓ 「正解／不正解」にチェックを付けると、各問題の判定結果を○×で表示します。

⑦ 結果による表示切替（「クイズ」用途のみ設定が可能）

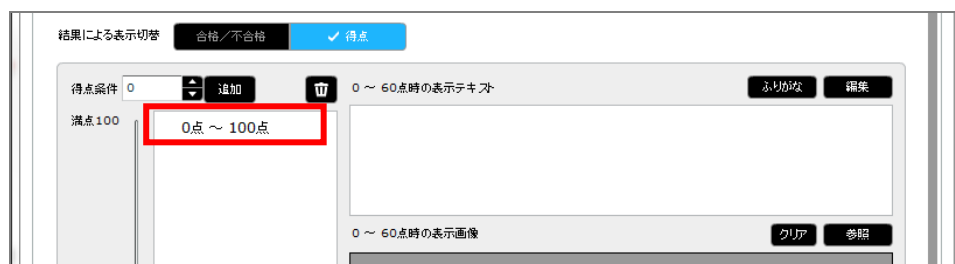
結果画面を「合格/不合格」または「得点」のどちらで表示するのか選択します。

- ➡ 「合格/不合格」：合否別で結果画面を表示します。

合格時メッセージ/不合格時メッセージ（クイズ）、送信完了時メッセージ（アンケート）それぞれのメッセージを設定します

- ➡ 「得点」：得点別で結果画面を表示します。

得点別に異なる結果画面を設定することができます。



- ✓ 問題データ設定画面で各問題に配点が設定されている場合、配点の合計点が標準で表示されます。

（例：合計点が100点だった場合、0点～100点と表示されます。）

また、合計点が変わった場合は、自動的に得点範囲の上限値が変更されます。

- ✓ 【編集】ボタンや【ふりがな】ボタンをクリックすると、文字を装飾できます。詳細は「[2-2-1. テキスト装飾 \(リッチテキストエディタ編集\)](#)」または「[2-2-2. ルビ機能 \(ふりがな編集\)](#)」を参照してください。

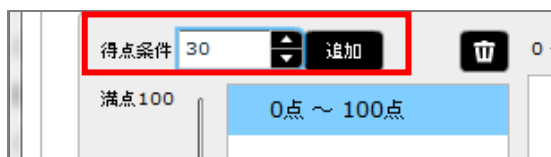
ワンポイント

- 得点範囲の設定方法について

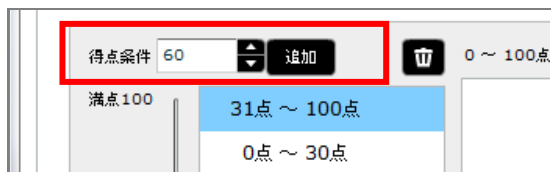
得点の範囲設定は、標準で表示された得点範囲を分割して設定します。分割方法は下記の具体例で説明します。

(例) 0点～30点、31点～60点、61点～100点の得点範囲を作成する場合の手順

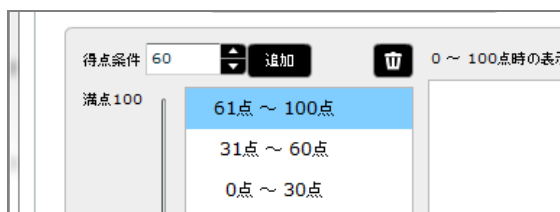
1. 得点条件に「30」を入力し、【追加】ボタンをクリックします。



2. 0点～30点の得点範囲が作成できたことを確認します。
3. 得点条件に「60」を入力し、【追加】ボタンをクリックします。



4. 31点～60点の得点範囲が作成できたことを確認します。



- 得点範囲を削除する方法

削除したい得点範囲を選択し、削除ボタン  をクリックします。

- 得点範囲を変更する方法

変更する方法は2通りあります。

- 1) スライダーを移動させ得点範囲を変更します。



⑧ 画像

画像を利用したい時に設定します。ファイルをドラッグ&ドロップしても指定できます。

- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

● 最終画面

⑨ 最終画面（対象端末「PCのみ（Flash）」の場合設定可能）

コンテンツの最終画面（結果画面後の画面）の有無を設定します。

⑩ 画面レイアウト

使用するレイアウトを選択します。

- ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。

⑪ 画像

画像を利用したい時に設定します。灰色エリアに画像ファイルをドラッグ&ドロップしても指定できます。

- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

3-2-3. 問題データ設定タブ

3-2-3-1. 問題データ設定タブの設定手順

問題データ設定タブでは、問題を作成します。

1. 新規作成したコンテンツの場合、はじめに問題を追加します。【追加】ボタンをクリックします。



2. 追加された問題をダブルクリックすると、詳細を設定する「問題詳細データ設定」が開きます。



- ✓ 問題詳細データ設定画面については、「[3-3. 問題詳細データ設定画面](#)」を参照してください。

3. すべての問題の設定が完了したら、合格点を設定します。



- ✓ 合格点の設定は、アンケートコンテンツの場合は不要です。

3-2-3-2. 問題データ設定タブの項目説明

THiNQ Maker コンテンツ設定

テンプレート 保存 コンテンツ プレビュー 書き出し 保存 ヘルプ 戻る

基本設定 画面設定 問題データ設定

配点初期値(点) 10 点

CSV入力 CSV出力 問題データ読込 問題データ出力

複製 削除 追加

ID	選択肢タイプ	配点	問題テキスト	操作メニュー
1	択一プッシュボタン	10	Which is the new sightseeing spot in Japan?	複製
2	択一プッシュボタン	10	TOKYO SKY TREE is 613meters tall.Yes or NO?	上へ移動
3	択一ラジオボタン	10	Which prefecture is TOKYO SKY TREE located in?	下へ移動
4	択一ラジオボタン	10	How long does it take from NARITA Airport to TOKYO SKY TREE	
5	テキスト入力	0	Please take a message.	

合格点 20 / 40 点

全体的制限時間(秒) 100 秒

- ① 配点初期値 (点)
問題追加時の配点の初期値を設定します。

② CSV 入力／CSV 出力

問題を CSV から登録したり、CSV へ出力したりします。詳細は「[B3. CSV による問題一括登録](#)」を参照してください。

③ 問題データ読込／問題データ出力

選択した問題を出力して外部データファイルへ出力できます。

問題データのすべての設定（画像／音声／動画データ等すべて）が出力できるので、別のコンテンツでの流用や、問題のバックアップで便利です。詳細は「[B4. 問題データ読込/出力（問題ごとの流用・バックアップ）](#)」を参照してください。

④ 複製／「- 削除」／「+ 追加」

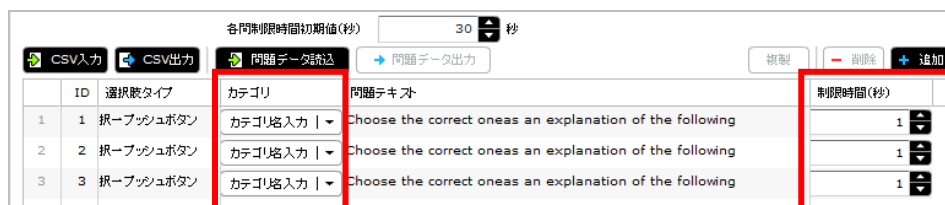
- 複製：選択された問題を複製します。複製した問題は、最下部に追加されます。
- 削除：選択中の問題詳細データが削除されます。
- 追加：問題を新規に追加します。

⑤ 問題データ表示エリア

各問題の情報をリスト表示します。左端の項目はリスト上の番号です。

ID	問題詳細データを追加することに自動で設定されます。
選択肢タイプ	問題詳細データで登録した選択肢を表示します。
配点	各問題の配点を設定します。 ✓ 基本設定で「抽出出題」を選択した場合は、基本設定画面で配点を登録する為ここには表示されません。
問題テキスト	問題文が表示されます。

- ✓ 基本設定で、出題設定「抽出出題・各カテゴリから」とした場合、カテゴリ選択が表示されます。制限時間「あり・各問」とした場合、制限時間欄が表示されます。



⑥ 合格点

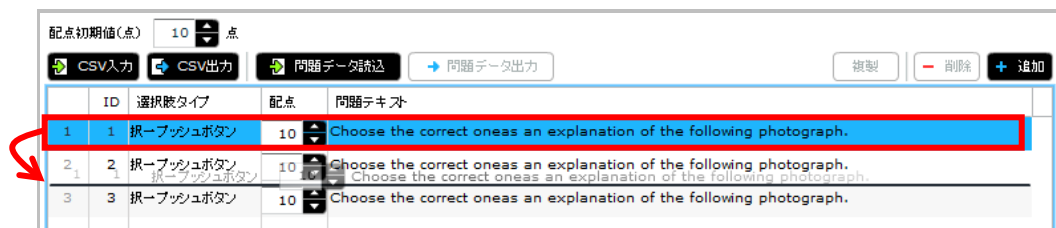
コンテンツの合格点を設定します。アンケートの場合は設定できません。

⑦ 右クリックメニュー

リスト上で右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- 【複製】 : 選択中の問題データをコピーします。
- 【上へ移動】 : 選択中の問題詳細データの順番を上へ移動します。
- 【下へ移動】 : 選択中の問題詳細データの順番を下へ移動します。

✓ 問題をドラッグ&ドロップしても、上へ移動、下へ移動が可能です。



ID	選択肢タイプ	配点	問題テキスト
1	1 択-プッシュボタン	10	Choose the correct ones as an explanation of the following photograph.
2	2 択-プッシュボタン	10	Choose the correct ones as an explanation of the following photograph.
3	3 択-プッシュボタン	10	Choose the correct ones as an explanation of the following photograph.

⑧ 全体制限時間（秒）

コンテンツ全体の解答制限時間を設定します。

✓ 基本設定で、制限時間「あり・全体」とした場合に表示されます。

3-3. 問題詳細データ設定画面

問題詳細データ設定画面では、問題文や選択肢の設定を行います。タブが4つあります。

3-3-1. 基本設定タブ

3-3-1-1. 基本設定タブの設定手順

コンテンツの動作を設定するタブです。

次の「基本設定タブの項目説明」を参照して、それぞれの項目を設定していきます。

3-3-1-2. 基本設定タブの項目説明



① 選択肢タイプ

問題のタイプを選択します。以下の通りです。

選択肢タイプ	概要	備考
択一プッシュボタン	<p>選択肢の中から正しい解答を一つ選択する、プッシュボタン式の解答形式です。</p> <p>シンプルで分かりやすい選択肢です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 判定モードが「各問」の際は、ボタンをクリックした時点で即時判定。 「選択肢シャッフル」を設定可能。 選択肢に以下ファイルを挿入可能。 画像、音声、動画、画像+音声、画像+動画

<p>択一ラジオボタン</p>	<p>選択肢の中から正しい解答を一つ選択する、ラジオボタン式の解答形式です。</p> <p>判定モードが「各問」の際にも解答を選びなおすことができる点がプッシュボタンと異なります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 即時判定ではなく、判定モードに関わらず受講者が【判定する】ボタンをクリックした時点で判定。 ● 「選択肢シャッフル」を設定可能。 ● 選択肢に以下ファイルを挿入可能。画像、音声、動画、画像+音声、画像+動画
<p>複数選択チェック</p>	<p>複数選択が可能な、チェック形式の解答形式です。</p> <p>正答が複数必要となる際に利用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 即時判定ではなく、判定モードに関わらず受講者が【判定する】ボタンをクリックした時点で判定。 ● 「選択肢シャッフル」を設定可能。 ● 選択肢に以下ファイルを挿入可能。画像、音声、動画、画像+音声、画像+動画
<p>テキスト入力</p>	<p>解答テキスト入力を行います。</p> <p>漢字や英語の記述テスト等に利用します。</p> <p>採点対象としないことで、自由記述論文やアンケートとしても利用できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正答として以下を設定可能 <ul style="list-style-type: none"> －入力欄ラベル －大文字/小文字の区別 －入力可能文字タイプ －入力可能文字数 ● 正答の複数設定可能
<p>ドラッグ&ドロップ</p>	<p>選択肢を正しいグループへドラッグ&ドロップする解答形式です。</p> <p>画面に動きがあり、楽しく参加できるクイズの作成等に利用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1つの選択肢を複数のグループへ所属させる正答設定も可能。 ● 対象端末「PC+スマートフォン/タブレット」の場合は選択不可。
<p>○×解答形式</p>	<p>○×ボタンを使った正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 判定モードが「各問」の際は、ボタ

	誤形式。	ンをクリックした時点で即時判定
--	------	-----------------

② 問題画面レイアウト

使用するレイアウトを選択します。以下の視点などで選択します。

- 問題文のテキストはどこに配置するか？（赤枠）
 - 問題文の画像類はどこに配置するか？（灰色エリア）
 - 選択肢の大きさはどれくらいがいいか？
 - 選択肢のテキストはどこに配置するか？（赤枠）
 - 選択肢の画像類はどこに配置するか？（灰色エリア）
- ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。

③ 資料画面（対象端末「PCのみ」で有効）

問題ごとに資料を設定できます。設定は「解説／資料設定」タブで行います。

④ 採点対象

採点するかどうかを決めます。採点する必要のない問題は「対象外」とします。

- ✓ アンケートコンテンツの場合は採点対象外です。

⑤ 配点

この問題に正解したときの配点を設定します。

- ✓ コンテンツ設定画面の「問題データ設定」タブでも設定できます。



- ✓ 9999 点まで設定可能です。
- ✓ アンケートコンテンツの場合は設定できません。

3-3-2. 問題設定タブ

3-3-2-1. 問題設定タブの設定手順

コンテンツの動作を設定するタブです。

次の「基本設定タブの項目説明」を参照して、それぞれの項目を設定していきます。

3-3-2-2. 問題設定タブの項目説明



① 問題テキスト

問題文を入力します。

- ✓ 【編集】ボタンや【ふりがな】ボタンをクリックすると、文字を装飾できます。詳細は「[2-2-1. テキスト装飾 \(リッチテキストエディタ編集\)](#)」または「[2-2-2. ルビ機能 \(ふりがな編集\)](#)」を参照してください。

② 問題メディア設定

問題にメディアを設定する場合は、プルダウンから使用するメディアを選択します。

- ✓ 画像、音声、動画ファイルの指定は【参照】ボタンからだけでなく、ドラッグ&ドロップでも可能です。
- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

ワンポイント

音声や動画を選択すると、以下の内容が表示されます。

問題メディア設定	動画	▾
動画ファイル設定	<input type="text"/>	参照
自動再生開始秒数	<input type="text" value="0"/>	秒
解答開始タイプ	画面表示直後	メディア自動再生後

- ✓ 自動再生開始秒数として、問題を表示してから音声や動画を開始するまでの時間を指定できます。対象端末「PCのみ（Flash）」で有効です。
- ✓ 解答開始タイプは、「画面表示直後」を選択すると問題画面を開いた時点で解答欄が表示されます（対象端末「PC+スマートフォン/タブレット」の場合、解答開始タイプは「画面表示直後」固定です）。「メディア自動再生後」を選択すると再生終了後に解答欄が表示されます。

③ 問題非表示設定（Flash コンテンツで有効）

指定した時間が経過すると、問題文を非表示に切り替えることができます。

- ✓ 非表示になった問題文は、判定済みになると表示されます。

3-3-3. 選択肢設定タブ

問題設定タブで選んだ選択肢タイプによって、設定方法が異なります。

3-3-3-1. 択一プッシュ、択一ラジオ、複数選択チェックタイプ

1. 選択肢内に画像・音声・動画を利用する場合は、メディアを設定します。



- ✓ 対象端末「PC+スマートフォン/タブレット」では、選択肢内メディアとして画像のみ利用できます。「PCのみ (Flash)」は、画像だけでなく音声や動画を利用できます。

2. 【追加】ボタンをクリックし、必要なだけ選択肢を追加します。



3. 選択肢に表示するテキストを入力します。



- ✓ 【編集】ボタンや【ふりがな】ボタンをクリックすると、文字を装飾できます。詳細は「[2-2-1. テキスト装飾 \(リッチテキストエディタ編集\)](#)」または「[2-2-2. ルビ機能 \(ふりがな編集\)](#)」を参照してください。

4. 手順 1 で選択肢内メディアを指定した場合は設定しませ (以下画像の例)。



- ✓ ファイルの指定は【参照】ボタンからだけでなく、ドラッグ&ドロップでも可能です。
- ✓ ご利用の動作環境によってはドラッグ&ドロップでファイルを指定できない場合があります。その場合には【参照】ボタンからファイルを登録してください。

5. 正答を設定します。



- ✓ 択一ブッシュ、択一ラジオではひとつだけ正答として設定できます。複数選択チェックでは、複数を正答として設定できます (すべて選択されたときに正解)。
 - ✓ アンケートの場合、採点対象外の問題の場合は、正答の設定は不要です。
6. 【設定完了】ボタンをクリックします。クリックすると、「問題データ設定」画面に戻ります。

ワンポイント

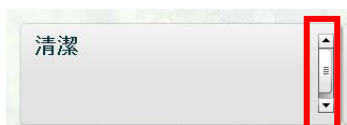
- 選択肢シャッフルありにチェックを入れると、選択肢の並び順をシャッフルして出題します。



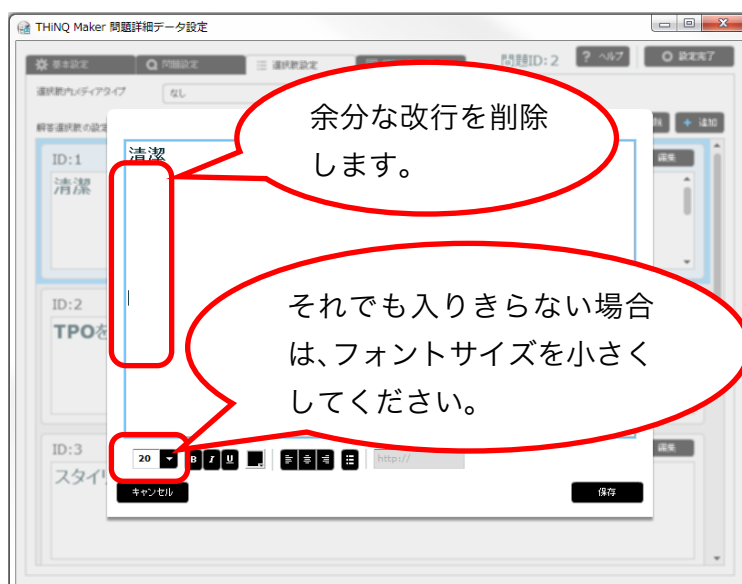
- 選択肢の順番を変更したい場合は、選択肢を右クリックします。操作メニューで「上へ移動」または「下へ移動」を選択してください。



- Flash コンテンツで不要なスクロールが入る場合は以下をお試しください。

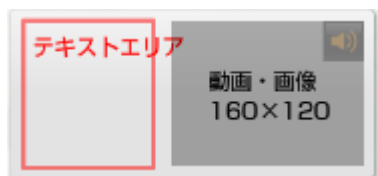


テキストエリアで余計な改行をクリアしてください。

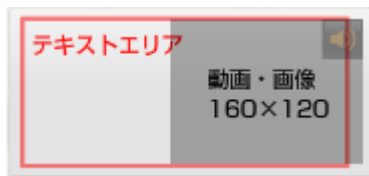


または、選択肢のテキストエリアが広いレイアウトをご利用いただくことでも解決することがあります。

テキストエリアが狭い例)



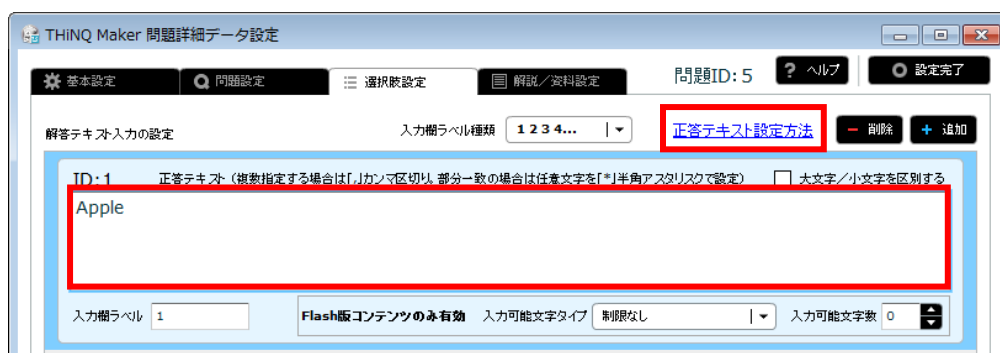
テキストエリアが広い例)



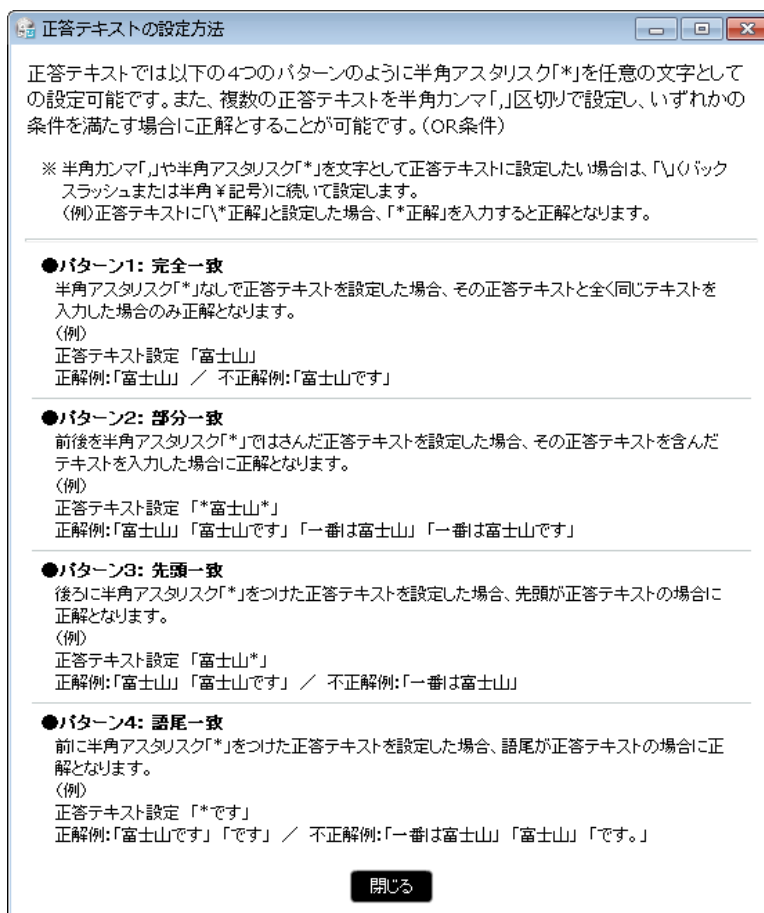
- ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。

3-3-3-2. テキストタイプ

1. テキスト入力欄に、正答テキストを設定します。



- ✓ アンケートの場合、採点対象外の問題の場合は、設定不要です。
- ✓ 正答は「, (半角カンマ)」で区切ると複数設定できます。いずれかの正答に該当した場合正解です。
文字として半角カンマ「,」を利用したい場合は、半角カンマの前に「¥」を付け『¥,』と入力します。
- ✓ 詳細な指定方法は、右上の「正答テキスト設定方法」リンクを参照してください。(次頁図)

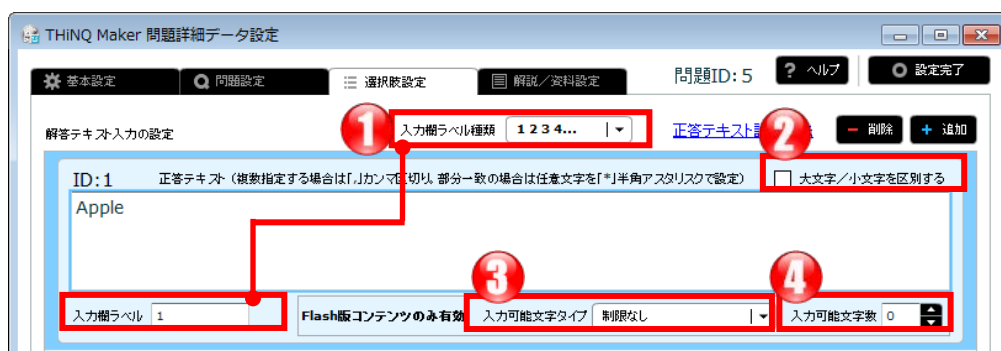


ワンポイント

- 入力フォームを複数作成する場合は【追加】ボタンで入力欄を増やします。



- そのほかの項目



- ① 入力欄ラベル：
入力欄の左に項目番号として表示するラベルを設定します。
 - －上部の入力欄ラベル種類で変更できます。
 - －直接テキスト入力することで変更できます。
(直接テキスト入力が入力欄ラベル種類「自由入力」に自動で切り替わります)

✓ 表示可能な文字数は、全角の場合 1 文字、半角の場合 2 文字までです。
- ② 大文字／小文字を区別する：
大文字（例：A）と、小文字（例：a）を区別して採点します。
- ③ 入力可能文字タイプ：
英数字や大文字小文字の入力制限を設定します。
 - ✓ Flash コンテンツで有効になる機能です。
HTML5 コンテンツでは、入力可能文字タイプを設定していても、入力制限はかかりません。
- ④ 入力可能文字数：
解答の入力文字数を制限する場合には、0 以外の数値を設定します。
0 が設定されている場合は、文字数の制限は設けません。
 - ✓ Flash コンテンツで有効になる機能です。
HTML5 コンテンツでは、入力可能文字数を設定していても、入力制限はかかりません。

3-3-3-3. ドラッグ&ドロップ ～ 基本設定 ～

- ✓ ドラッグ&ドロップは、対象端末「PCのみ (Flash)」で利用できます。
- 1. 【追加】をクリックし、必要な分だけ選択肢を増やします。
また、選択肢の内容を設定します。



- 2. 【追加】をクリックし、必要な分だけドロップイングループを増やします。
また、グループ名を設定します。



- ✓ 「ドロップイン上限あり」をチェックすると、回答者がそのグループに回答としていれることができる選択肢の数を制限できます。

3. 「正答設定」タブで、正答を設定します。
正答設定ドロップイングループを選択し、そのグループに該当する選択肢を、すべてドラッグ&ドロップで指定します。



- ✓ 「選択肢を重複してドロップイン可能」をチェックすると、ある選択肢を複数のグループにドロップできるようになります。

3-3-3-4. ○×解答形式

1. ○と×のどちらが正答かチェックします。



- ✓ 「選択肢シャッフルあり」をチェックすると、選択肢の並び順をシャッフルして出題します。

3-3-4. 解説／資料設定タブ

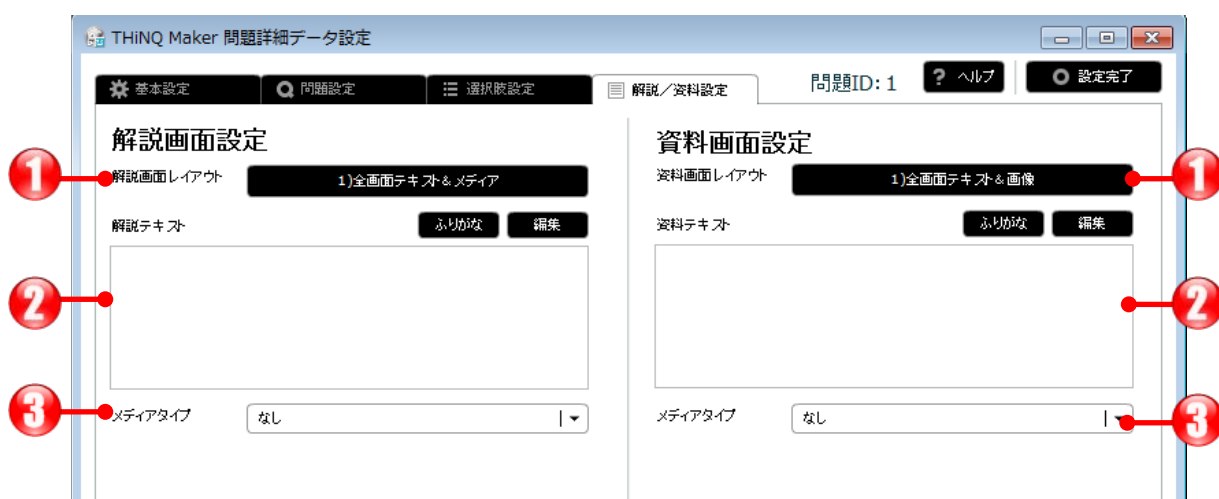
3-3-4-1. 解説／資料タブの設定手順

解説や資料を設定します。

次の「解説／資料タブの項目説明」を参照して、それぞれの項目を設定していきます。

- ✓ 解説を設定するには、コンテンツ設定/基本設定画面の「解説画面のあり／なし」で「あり」を選択します。
- ✓ 資料は、対象端末「PCのみ（Flash）」の場合に設定できます。
また、問題詳細データ設定/基本設定画面の「資料画面」で「あり」を選択します。

3-3-4-2. 解説／資料タブの項目説明



- ① 解説画面レイアウト／資料画面レイアウト（Flash コンテンツのみ有効）
レイアウトを指定します。
 - ✓ レイアウト選択のポイントは「[2-2-3. レイアウトの選択のコツ](#)」を参照してください。
- ② 解説テキスト／資料テキスト
各画面で表示するテキストを入力します。
 - ✓ 【編集】ボタンや【ふりがな】ボタンをクリックすると、文字を装飾できます。
詳細は「[2-2-1. テキスト装飾（リッチテキストエディタ編集）](#)」または「[2-2-2. ルビ機能（ふりがな編集）](#)」を参照してください。
- ③ メディアタイプ
各画面に加える画像やマルチメディアファイルの設定なし以外を選択した場合は、

各選択肢欄下部に画像やマルチメディアファイルの設定欄を表示します。
資料画面へ挿入できるファイルは画像のみとなります。

3-4. 作成したコンテンツを確認する

- ✓ プレビューウィンドウは簡易的に画面イメージを確認する用途としてお使いください。
1. 「コンテンツ設定」画面の【 プレビュー 】ボタンをクリックします。



2. V1.3.1 よりコンテンツのプレビューは、HTML5 と FLASH のどちらかを選択します。



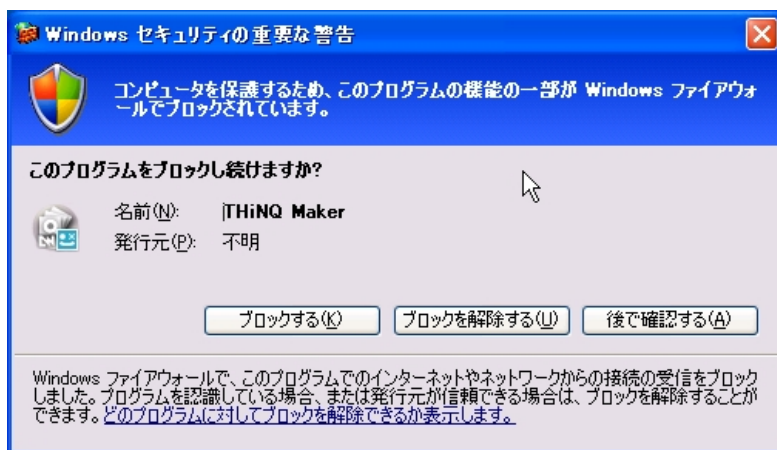
3. Web ブラウザが自動的に起動し、プレビュー選択で選択した HTML5 コンテンツまたは、FLASH のコンテンツが表示されます。

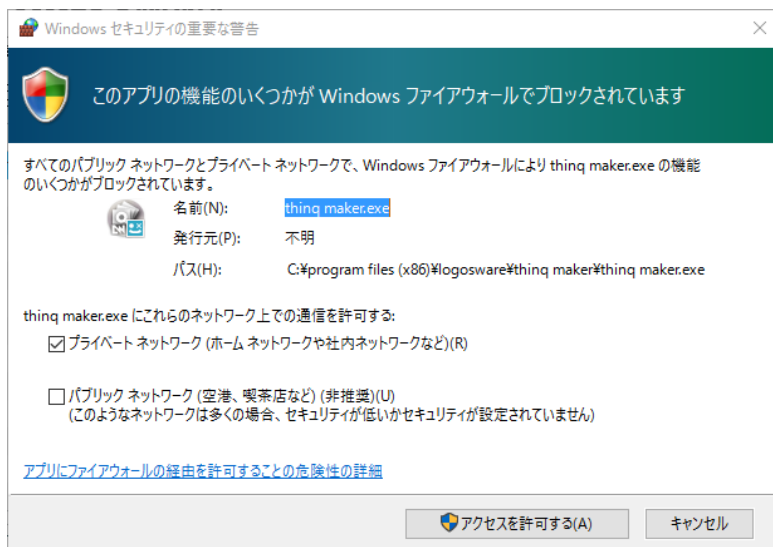
FLASH (PC)
レット)

HTML5 (PC、スマホ・タブ



- ✓ THiNQ Maker のインストール後、はじめて THiNQ Maker を起動したときに、「Windows セキュリティの重要な警告」が表示される場合があります。もし、表示された場合は【ブロックを解除する】、または、【アクセスを許可する】をクリックします。





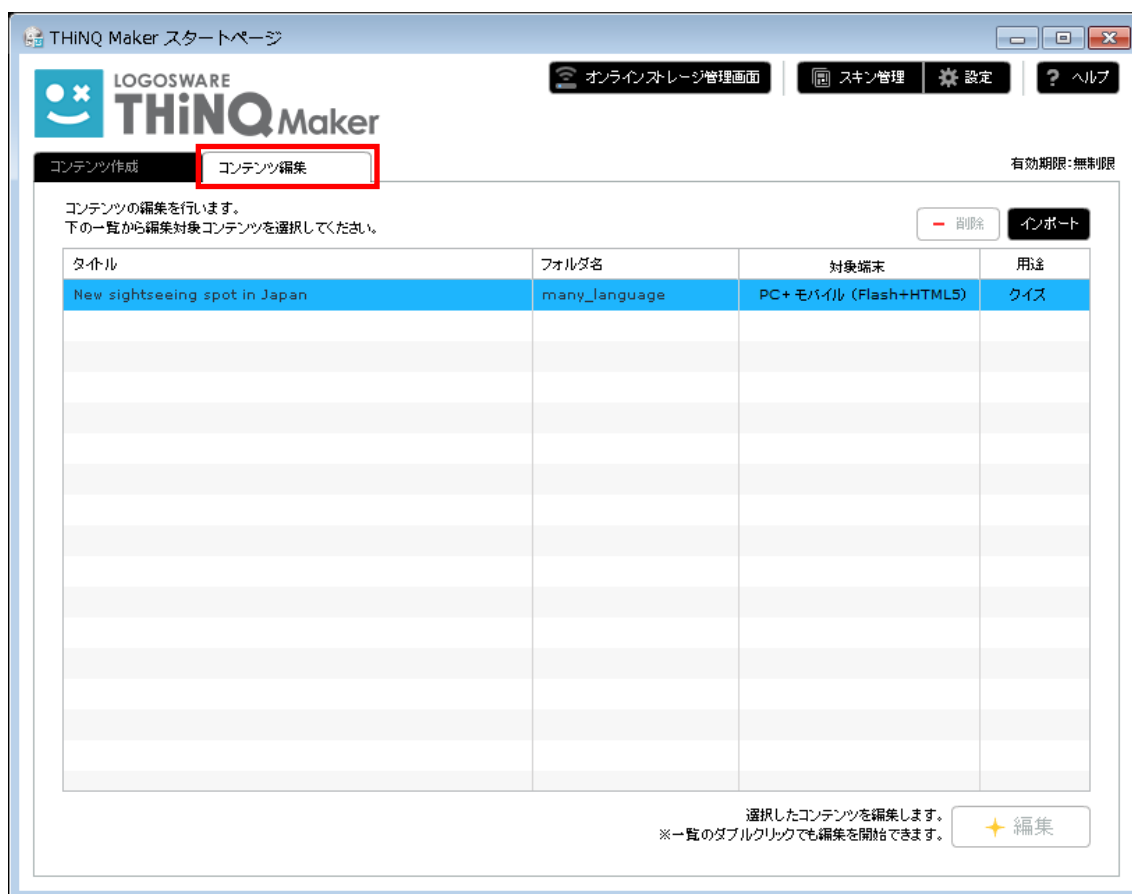
3-5. 作成したコンテンツを保存する

作成したコンテンツデータを保存します。

「コンテンツ設定」画面の【保存】ボタンをクリックします。クリックすると、コンテンツデータが保存されます。



保存されたデータはスタートページのコンテンツ編集タブに表示されます。ダブルクリックするか、右下の【編集】ボタンをクリックすると編集できます。



第 4 章. コンテンツを公開する

4-1. コンテンツ公開の概要

出来上がったコンテンツを公開するには、以下の方法があります。

Web サーバーで公開する

Web サーバーで公開する方法です。

コンテンツをアップロードする方法には、以下の 2 種類があります。

- FTP でアップロードする方法
一般的な Web サーバーで利用する方法です。

LMS（学習管理システム）で公開する

LMS とは Learning Management System の略で、e ラーニングの進捗管理をするためのシステムです。LOGOSWARE THiNQ Maker コンテンツは、SCORM1.2、2004 に対応しているため、これらの規約に準拠する LMS に掲載し、進捗を管理することができます。

詳細は「[4-3.LMS で公開する](#)」を参照してください。

- ✓ LMS 管理者の方に必ず確認してほしいことをまとめました。付録「[C3.LMS 利用時の注意点のまとめ](#)」を参照してください。

ロゴスウェアオンラインストレージで公開する

ロゴスウェアオンラインストレージは、ロゴスウェア社が運用するサーバー領域にデータをアップロードし、公開できるサービスです。Web サーバーを用意しなくても、閲覧者にコンテンツを公開できて便利です。

詳細は「[4-2. Web サーバー/オンラインストレージで公開する](#)」を参照してください。

- ✓ ご利用いただくには、オンラインストレージの契約が必要です。
- ✓ この公開方法の場合、回答結果を蓄積するためには「スコア機能」を使う必要があります。スコア機能については「[第 5 章. スコア機能 \(簡易履歴管理\)](#)」を参照してください。

CD や DVD で配布する

以下のどちらかの方法があります。

- オフライン閲覧キットを利用する (複数コンテンツ可能/有償)

詳細は「[B6. コンテンツを CD/DVD で配布する](#)」を参照してください。

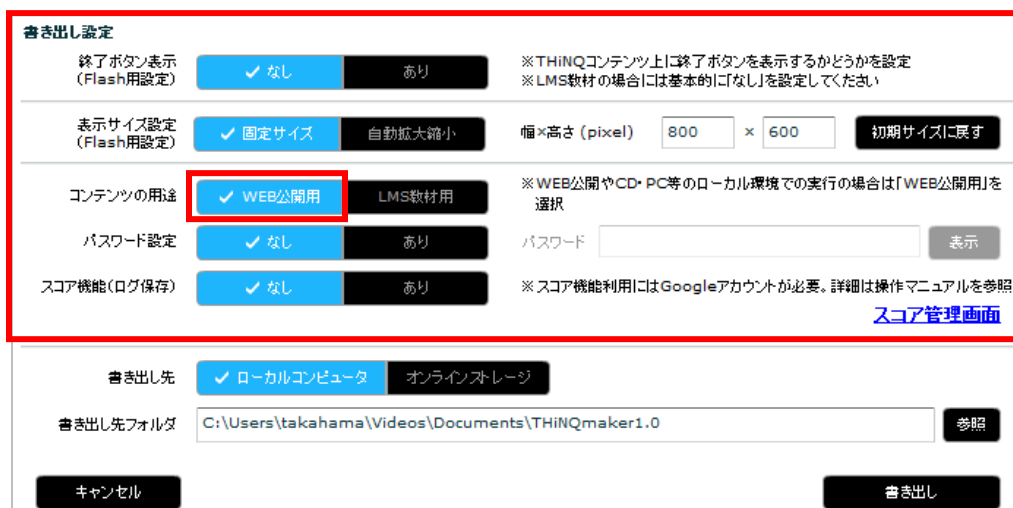
4-2. Web サーバー/オンラインストレージで公開する

4-2-1. 書き出し設定を行う

1. コンテンツ設定画面で【書き出し】ボタンをクリックします。



2. コンテンツの用途として、「WEB 公開用」を選択します。

The image shows the '書き出し設定' (Export Settings) dialog box. It has several sections: '終了ボタン表示 (Flash用設定)' (End button display (Flash settings)) with 'なし' (None) selected; '表示サイズ設定 (Flash用設定)' (Display size settings (Flash settings)) with '固定サイズ' (Fixed size) selected and dimensions of 800 x 600 pixels; 'コンテンツの用途' (Content purpose) with 'WEB公開用' (Web publish) selected and highlighted by a red box; 'パスワード設定' (Password settings) with 'なし' (None) selected; and 'スコア機能(ログ保存)' (Score function (log saving)) with 'なし' (None) selected. Below these are options for '書き出し先' (Export destination) with 'ローカルコンピュータ' (Local computer) selected, and a text field for '書き出し先フォルダ' (Export destination folder) containing 'C:\Users\takahama\Videos\Documents\THiNQmaker1.0'. At the bottom are 'キャンセル' (Cancel) and '書き出し' (Export) buttons.

- 終了ボタン表示 (Flash コンテンツで有効) ウィンドウ (またはタブ) を閉じる【終了】ボタンを表示するか決めます。

- ✓ 終了ボタンは、コンテンツが親ウィンドウから起動されたときに有効です。ブラウザに URL を直接入力したような場合はクリックしてもウィンドウが閉じません。



- ✓ HTML5 コンテンツの場合、本設定にかかわらず親ウィンドウの有無を自動識別して、親ウィンドウがある場合に【閉じる】ボタンを表示します。

- 表示サイズ設定（Flash コンテンツで有効）
書き出す THiNQ コンテンツの表示サイズ設定をします。
 - ☞ 固定サイズ
ブラウザウィンドウサイズに関係なく指定した固定サイズで表示されます（初期値は、選択されているスキンセットの推奨サイズです）。
 - ✓ 幅、高さのいずれかを変更すると、幅高さ比率が変更されないように片方の数値が自動的変更されます。幅、高さに初期値以外の数値を設定すると、多少画像が粗く見える場合があります。
 - ☞ 自動拡大縮小
コンテンツの表示サイズをウィンドウのサイズに合わせて自動拡大縮小させる設定です。ブラウザウィンドウのサイズにより画像等が引き伸ばされる場合があるため、多少画像が粗く見える場合があります。
- パスワード設定
閲覧者がコンテンツを開くときに、パスワードを要求するよう設定できます。「あり」を選択し設定したいパスワードを入力します（半角英数字および_@.+-、32文字以内）。パスワードを確認したい場合、【表示】ボタンをクリックします。
 - ✓ 本機能は簡易的なアクセス制限機能です。コンテンツの確実な保護を保障するものではありません。
 - ✓ 「プレビュー」ではパスワード入力画面は表示されません。
 - ✓ 原則として、Web サーバー上のコンテンツを対象とした仕組みです。コンテンツデータがローカル（パソコン上）にある場合、動作しないことがあります。
- スコア機能（ログ保存）
「スコア機能あり」とあるものを選ぶと、簡易履歴蓄積機能を利用できます（誰が、いつ閲覧済みになったかを確認できる機能）。簡易的なeラーニングに適しています。レギュラー版、エキスパート版をご契約の方のみ利用できます。詳細は「[第5章 スコア機能（簡易履歴管理）](#)」を参照してください。

4-2-2. Web サーバーでアップロードする (FTP の例)

✓ アップロード先の Web サーバーはお客さまご自身でご用意ください。

1. 書き出し先として「ローカルコンピュータ」を選択します。

書き出し先フォルダは、初期値ではワークスペース内が指定されています。変更したい場合は変更します。ZIP 圧縮の選択は「しない」を選択します。最後に【書き出し】ボタンをクリックします。

書き出し設定

終了ボタン表示 (Flash用設定) なし あり ※THiNQコンテンツ上に終了ボタンを表示するかどうかを設定
※LMS教材の場合には基本的に「なし」を設定してください

表示サイズ設定 (Flash用設定) 固定サイズ 自動拡大縮小 幅×高さ (pixel) 800 × 600 初期サイズに戻す

コンテンツの用途 WEB公開用 LMS教材用 ※WEB公開やCD・PC等のローカル環境での実行の場合は「WEB公開用」を選択

パスワード設定 なし あり パスワード 表示

スコア機能(ログ保存) なし あり ※スコア機能利用にはGoogleアカウントが必要。詳細は操作マニュアルを参照 [スコア管理画面](#)

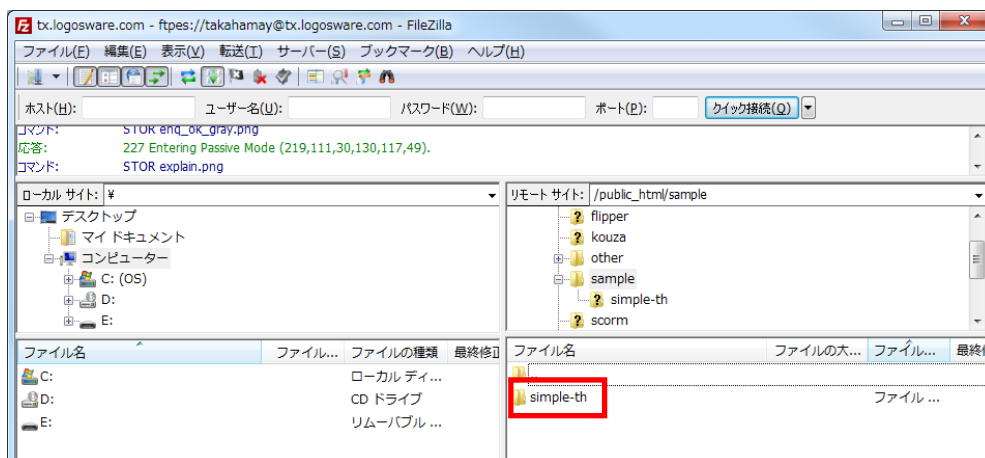
書き出し先 ローカルコンピュータ オンラインストレージ

書き出し先フォルダ C:\Users\itos\Desktop

ZIP圧縮 する しない

2. 指定したフォルダに、コンテンツデータ一式が書き出されます。

このコンテンツフォルダを、FTP クライアントソフトなどで、Web サーバーにアップロードします。



- ✓ 書き出した「simple-th」フォルダを、「FileZilla」という FTP クライアントソフトで、「tx.logosware.com/takahamamy/sample」の領域にアップロードしている例です。
 - ✓ Web サーバーのアップロード先や、FTP クライアントソフトの設定値などは、Web サーバー管理者までお尋ねください。
 - ✓ FTP クライアントツールの使い方は開発元にお尋ねください。
3. ブラウザにアップロード先の URL を指定して、コンテンツが起動するかどうか、確認します。



ブラウザに URL を指定



コンテンツ起動 (Flash 版の例)

- ✓ 「tx.logosware.com/takahamamy/sample」にアップロードした「simple-th」の中にある index.html を呼び出す URL を、ブラウザの URL 欄に指定します。
 - ✓ スマートフォン対応コンテンツの場合、同じ URL をスマートフォンから閲覧すると、スマートフォン用コンテンツを表示します。
4. 必要に合わせて、コンテンツを起動するための HTML を作成します。index.html をリンクとして呼び出してください。
- ✓ HTML の知識が必要です。
 - ✓ ログosウェア公式サイトに THiNQ を呼び出しているページがありますので、参考にしてください。(Internet Explorer における HTML ソースの表示方法：右クリック>ソースを表示)

<http://suite.logosware.com/thinq-maker/sample/>

4-2-3. オンラインストレージへアップロードする

- ✓ ログosウェアのサーバー環境にコンテンツをアップロードする方法です。Webサーバーの用意がいらないので、手軽です。
 - ✓ オンラインストレージをご利用いただくには、別途ご契約が必要です。
1. 書き出し先として「オンラインストレージ」を選択します。
【アップロード】ボタンをクリックします。

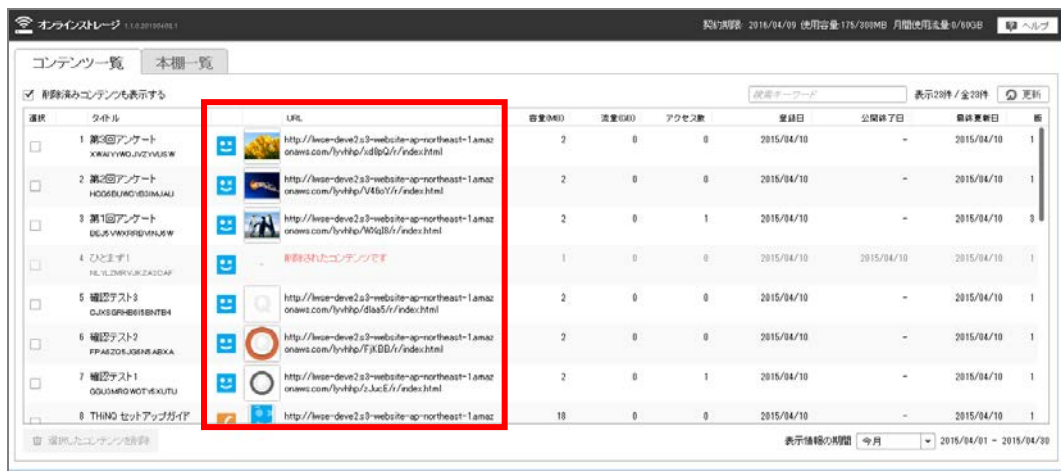
2. 必要に合わせて公開終了日を指定し、【コンテンツをアップロード】をクリックします。


- ✓ 「使用容量」「使用流量」で、現在の使用量を確認できます。ご契約の使用容量を超えてアップロードしようとしても登録できません。既存コンテンツを削除してから再アップロードしてください。

3. 【 オンラインストレージ管理画面 】 をクリックします。



4. アップロードが完了したら「URL 列」の URL からコンテンツを起動できます。この URL を Web サイトのリンクなどで閲覧者に提示します。



- ✓  マークが表示されている間は処理中です。少々お待ちください。
- ✓ オンラインストレージ管理画面の詳細につきましては「オンラインストレージ操作マニュアル」を参照して下さい。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/412/>

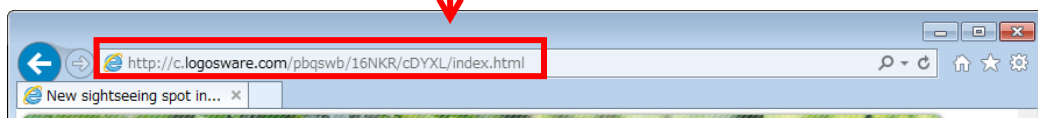
ワンポイント

- URL 列に表示されているのは、代表 URL です。代表 URL にアクセスされると、自動的に実 URL に転送されます。実 URL は、版ごとに異なります。Web サイトでのリンクには「代表 URL」を使用することをお勧めします。

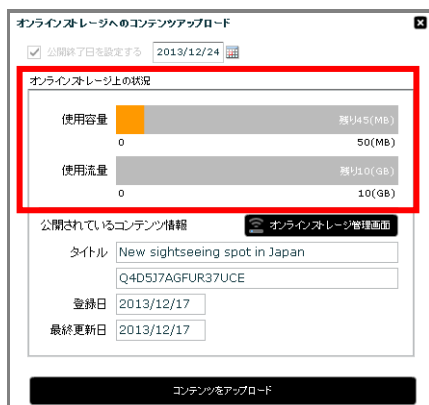
「代表 URL」にアクセスすると・・・



自動で実 URL に転送される。



- 今月の使用容量を確認したい場合は、以下のどちらかで確認します。
(書き出し画面)



オンラインストレージ管理画面)



4-3. LMS で公開する

4-3-1. 書き出し設定を行う

1. コンテンツ設定画面で【書き出し】ボタンをクリックします。



2. コンテンツの用途として、「LMS 教材用」を選択します。

 A screenshot of the '書き出し設定' (Export Settings) dialog box. The '書き出し設定' (Export Settings) section includes:

- 終了ボタン表示 (Flash用設定): なし, あり. ※THiNQコンテンツ上に終了ボタンを表示するかどうかを設定 ※LMS教材の場合には基本的に「なし」を設定してください
- 表示サイズ設定 (Flash用設定): 固定サイズ, 自動拡大縮小. 幅×高さ (pixel): 100% × 100%. 初期サイズに戻す
- コンテンツの用途: WEB公開用, LMS教材用. ※WEB公開やCD・PC等のローカル環境での実行の場合は「WEB公開用」を選択

 The 'LMS教材用設定' (LMS Course Settings) section includes:

- 教材名 (マニフェスト用): ビジネスマナー総合テスト
- SCORMバージョン: SCORM1.2, SCORM2004
- LMS指定: 通常
- 不合格時の扱い: 受講完了, 受講中
- 中断時の解答内容: 一時保存なし, 一時保存あり
- SCORM通信オプション: ※以下の設定を変更するとLMSに結果データが蓄積されない可能性があります。設定変更した場合はLMS上で十分な動作確認を行ってください。
 - 送信する結果データ: 各問題結果データもLMSへ送信する
 - 結果送信エラー表示: 教材単位の結果送信時(得点・ステータス等), 各問結果送信時

 At the bottom, there is a '書き出し先フォルダ' (Output Folder) field with 'C:\Users\itos\Desktop' and a '参照' (Browse) button. There are also 'キャンセル' (Cancel) and '書き出し' (Export) buttons.

- 終了ボタン表示
ウィンドウ（またはタブ）を閉じる【終了】ボタンを表示するか決めます。
 - ✓ LMSによっては、教材を閉じる制御をシステム側で行うことがあるため、基本的に「なし」を選択します。
 - ✓ 終了ボタンは、コンテンツが親ウィンドウから起動されたときに有効です。ブラ



ウザに URL を直接入力したような場合はクリックしてもウィンドウが閉じません。

- ✓ HTML5 コンテンツの場合、設定にかかわらず親ウィンドウの有無を自動識別して、親ウィンドウがある場合に【閉じる】ボタンが表示されます。

- 表示サイズ設定：書き出す THiNQ コンテンツの表示サイズ設定をします。

- 固定サイズ

ブラウザウィンドウサイズに関係なく指定した固定サイズで表示されます（初期値は、選択されているスキンセットの推奨サイズです）。

- ✓ 幅、高さのいずれかを変更すると、幅高さ比率が変更されないように片方の数値が自動的変更されます。幅、高さに初期値以外の数値を設定すると、多少画像が粗く見える場合があります。

- 自動拡大縮小

コンテンツの表示サイズをウィンドウのサイズに合わせて自動拡大縮小させる設定です。ブラウザウィンドウのサイズにより画像等が引き伸ばされる場合があるため、多少画像が粗く見える場合があります。

- 教材名（マニフェスト用）：

LMS 用教材マニフェストファイル (imsmanifest.xml) に記載する教材名初期値はコンテンツタイトルです。

ここで入力した教材名はマニフェストファイルの title 部分に記載されます。使用する LMS によってはマニフェストファイル内の title 部分を使用しない場合もあります。

- SCORM バージョン：

使用する LMS の SCORM バージョンを、1.2 または 2004 から選択します。

- ✓ 選ぶべき SCORM 形式は、LMS によって異なります。LMS 管理者にお問い合わせください。（ロゴスウェア社製 LMS「Platon（プラトン）」を利用している場合は、SCORM1.2 を選択します。）

- LMS 指定 :
THiNQ コンテンツを登録する LMS を指定します。
対象の LMS 名が選択肢に存在しない場合「通常」を選択します。
- 不合格時の扱い :
不合格の場合の動作を設定します。
 - 受講完了
LMS に「受講完了」ステータスを送信します。
 - 受講中
コンテンツ結果が不合格の場合に、LMS に「受講中」ステータスを送信します。
合格するまで何度も再受講させたい場合等に設定します。
- ✓ 送信する値は以下の通りです。

	SCORM1.2	SCORM2004
受講完了	cmi.core.lesson_status : 「passed」または「failed」	cmi.completion_status : 「completed」
受講中	cmi.core.lesson_status : 「incomplete」	cmi.completion_status : 「incomplete」

- 中断時の解答内容 :
受講を中断したコンテンツを再受講した時の設定です。
 - 一時保存なし
中断時、解答内容を LMS に保存しません。
再度受講すると、冒頭からの受講となります。
 - 一時保存あり
中断時、解答内容を LMS に保存します。
再度受講すると、前回中断した箇所から受講を再開します。
- ✓ [一時保存あり] + [制限時間あり] を設定したコンテンツは、受講中のコンテンツを閉じ再度開くと制限時間が設定値に戻ります。

- SCORM 通信オプション

SCORM 対応の THiNQ コンテンツは、解答完了時に LMS に対して受講結果データ（成績情報および解答内容情報）を送信します。

THiNQ コンテンツではこの受講結果データの送信処理結果に応じて、以下のようなメッセージが表示されます。

- ・ 送信成功時：データ送信が完了しました
- ・ 送信失敗時：データ送信に失敗しました

ご使用の LMS の仕様によっては、送信失敗メッセージが表示されてしまう場合がありますが、以下の設定により表示されないようにすることが可能です。

※以下の設定を変更した場合、LMS に必要な結果データが保存されない可能性があります。LMS 上で十分な動作確認を行ってください。

- 送信する結果データ

項目	確認内容
各問題結果データも LMS へ送信する	成績情報（合格/不合格、得点などの基本的な項目のみ）に加えて、各問題の解答内容情報も LMS に送信するかどうかを設定します。チェック解除すると各問題の解答内容情報は送信しません。 各問題の解答内容情報を保存しない仕様の LMS をご使用の場合にチェック解除してください。

※解答内容情報の SCORM データモデル詳細についてはこちらの資料をご参照ください。<https://doclib.logosware.com/#/content/326>

- 結果送信エラー表示

項目	確認内容
教材単位の結果送信時（得点・ステータス等）	成績情報（合格/不合格、得点などの基本的な項目のみ）の送信処理時にエラーが発生した場合に、送信失敗メッセージ表示するかどうかを設定します。 チェック解除すると送信失敗メッセージは表示されません。
各問題結果送信時	各問題の解答内容情報の送信処理時にエラーが発生

	<p>した場合に、送信失敗メッセージ表示するかどうかを設定します。</p> <p>チェック解除すると送信失敗メッセージは表示されません。</p>
--	--

- ZIP 圧縮 :

書き出すコンテンツファイルを ZIP ファイルとして出力することができます。用途に応じて設定します。

4-3-2. LMS へアップロードする

1. 書き出し先フォルダは、初期値ではワークスペース内が指定されています。変更したい場合は変更します。【書き出し】をクリックします。
2. 指定したフォルダに、コンテンツデータ一式が書き出されます。このコンテンツフォルダを、LMS にアップロードします。
 - ✓ アップロード方法は LMS によって異なります。LMS 管理者にお問い合わせください。
 - ✓ LMS 管理者の方に必ず確認してほしいことをまとめました。付録「[C3. LMS 利用時の注意点のまとめ](#)」を参照してください。

第 5 章. スコア機能 (簡易履歴管理)

5-1. スコアとは？

スコアとは、LOGOSWARE THiNQ Maker で作成したクイズ／テスト／アンケートコンテンツ学習者の学習履歴を蓄積し、管理者に学習履歴データを提供するサーバー・システムです。LOGOSWARE THiNQ Maker（レギュラー版、エキスパート版）の購入者に対して提供されます。

このシステムは米グーグル社のクラウド・コンピューティング環境「Google App Engine」を利用して開発されたもので、Google アカウントにログインしたうえで利用します。コンテンツを配信する運営者は、スコアを使うことで、追加の費用やサーバーの準備なしに、各学習者の学習履歴を管理することができます。

回答者画面

- ✓ メッセージを変更したり、入力画面を表示させないようにしたりすることもできます。

「パスワード設定」機能を使うと、見せたい人だけにコンテンツを見せることもできます。



管理者画面



スコアで学習履歴を蓄積する場合は、「スコア操作マニュアル」をご参照ください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/433/>

付録 A (環境設定)

A1. 自 PC 内のコンテンツを閲覧する方法 (グローバルセキュリティの設定)

コンテンツを Web サーバーにアップロードせずに Flash 版の THiNQ コンテンツを閲覧するには（ローカル再生）、グローバルセキュリティ設定が必要です。

自 PC ないでローカル再生させたい場合は、以下の資料を参照し必要な設定を行って下さい。

参考資料) 自 PC 内のコンテンツを閲覧する方法

https://doclib.logosware.com/-site_media/media/content/233/5/html5.html

- ✓ HTML5 コンテンツ、Flash コンテンツに必要な設定を記載しています。
- ✓ Flash Player は Version8 からセキュリティが強化され、『ローカル上』で実行する SWF ファイルの読み込みが許可されず、警告ダイアログ「Flash Player は潜在的に危険な操作を停止しました」が表示されます。
そのため、コンテンツをローカル上で閲覧する場合は、閲覧者（パソコン）ごとに、Flash Player に読み込んでも安全なファイル、またはフォルダだということを明示的に指定するグローバルセキュリティ設定が必要です。

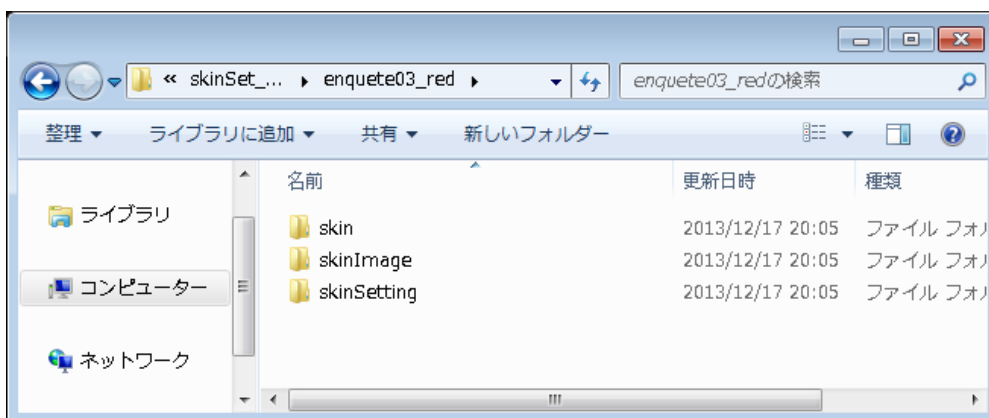
A2. スキンセットの追加

スキンセットを追加すると、作成するコンテンツのバリエーションが広がります。
(アンケート用追加カラースキンの例)



- ✓ スキンセットの追加ができるのは、グレード：「エキスパート」のみとなります。
- ✓ スキンの設定は、Flash コンテンツで有効です。
- ✓ 無料追加スキンは以下からダウンロードできます。
<https://learning.logosware.com/soft/thing/skin>
- ✓ スキンセットの登録には、Windows の管理者権限が必要です。

1. 追加したいスキンが ZIP 圧縮されている場合は、解凍しておきます。
(解凍済みの例)



2. 「スタートページ」の【スキン管理】ボタンをクリックします。



3. 「スキンセット」画面が表示されますので、【スキンセット追加】ボタンをクリックします。



4. 「追加スキンセットフォルダ選択」画面で、【参照】ボタンをクリックし、追加するスキンセットのフォルダを選択します。



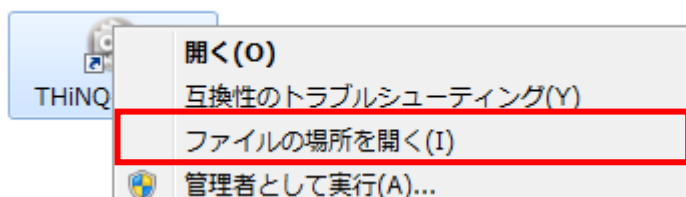
5. 選択後、【 OK 】 ボタンをクリックします。
クリックすると、スキンセット一覧に追加されます。



ワンポイント

この手順で追加できない時は、以下の2点をご確認ください。

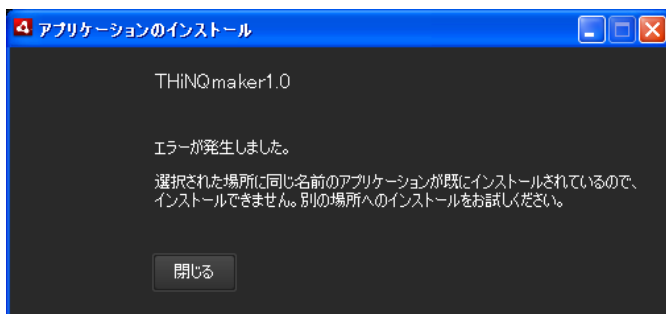
- ZIP は解凍されているか？
ZIP 圧縮された状態では追加できません。解凍してお試しください。
- 管理者として実行しているか？
スキンを追加するユーザーに Windows 管理者権限があることを確認してください。
あわせて、Windows Vista、Windows 7 をご利用の方は、LOGOSWARE THiNQ Maker を管理者として実行する必要があります。デスクトップ上のショートカット、またはプログラムのメニューを右クリックし [管理者として実行] を選択します。その後、通常通り、スキンの追加操作を行ってください。



A3. LOGOSWARE THiNQ Maker のアンインストール

アンインストール手順は以下の通りです。

1. スタート > コントロールパネルを選択します。
 - Windows7
[スタート] > [コントロールパネル] > [プログラムと機能]（または [プログラムのアンインストール]）を選択
 - Windows8、8.1
画面右上隅にマウスポインターを合わせ、チャームから[設定]を選択 > [コントロール パネル] > [プログラムと機能]（または [プログラムのアンインストール]）を選択
 - Windows10
[スタート] > [設定] > [システム] > [アプリと機能] を選択
 2. 「THiNQ Maker」を選択し、アンインストールします。
- ✓ 一度アンインストールを実行したパソコンで、再度 LOGOSWARE THiNQ Maker をインストールしようとする時、以下のメッセージが表示される場合があります。その際は、以前インストールした場所（デフォルト=C:\Program Files\Logosware）の「THiNQmaker1.0」フォルダまたは「THiNQ-Maker」フォルダの名称を変更（または削除、または他の場所へ移動）した後、パソコンを再起動し、再度インストール作業を実施してください。



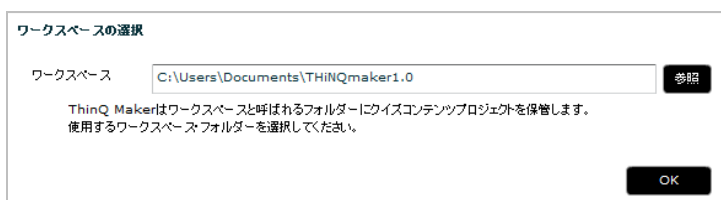
A4. ワークスペースの変更

ワークスペースとは、LOGOSWARE THiNQ Maker が内部的にデータを保存している領域です。ワークスペースは LOGOSWARE THiNQ Maker の初回起動時に自動的に設定されますが、変更することも可能です。ワークスペースの変更手順は以下の通りです。

1. 既存コンテンツを新しいワークスペースでも利用したい場合は、旧ワークスペースフォルダを任意の場所に移動します。
既存コンテンツを利用する必要がない場合は、新しいワークスペースになるフォルダを任意の場所に作成します。
 - ✓ 設定するワークスペースのフォルダパスにマルチバイトの文字（全角ひらがなや漢字など）が含まれていると、プレビュー表示を利用できません。必ずシングルバイト文字のフォルダパスとなる場所を選択してください。
2. スタートページの【設定】をクリックします。



3. 「ワークスペース設定」画面でフォルダを指定して、【 OK 】ボタンをクリックします。



A5. アップデート機能

自動アップデートは、新しいバージョンの THiNQ が存在すると、起動時に更新のお知らせを表示する機能です。（LOGOSWARE THiNQ Maker1.4 以降）

新しいバージョンの LOGOSWARE THiNQ Maker が見つかった場合は、ダウンロードサイトへアクセスしていただき、インストールファイルをダウンロードしてインストールしてください。

- ✓ 最新のインストーラーを取得するには、ID とパスワードが必要となります。ID とパスワードがご不明な場合、購入した販売店もしくはロゴスウェア株式会社までご連絡ください。

自動アップデート機能をオフにするには、スタートページで【設定】ボタンをクリックし、「アップデート機能設定（最新版が存在するか確認）」で「確認しない」を選択します。



A6. プレイヤーバージョンを設定する

プレイヤーとは、閲覧者に表示される画面のことです。LOGOSWARE THiNQ Maker では、以下の2つのプレイヤーを選択することができます。

Version2	Version1 と比較して、コンテンツの起動が高速なプレイヤーです。
Version1	<p>LOGOSWARE THiNQ Maker 1.7.1 までで採用されていたプレイヤーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Flash Player 8.0 で閲覧させたい場合など、LOGOSWARE THiNQ Maker 1.7.1 までと同様のプレイヤーを使いたい時に選択します。LOGOSWARE THiNQ Maker 1.7.1 までで書き出したコンテンツの起動を高速にしたい場合、「Version2」に設定し、再度書き出してください。選択肢内にリンクを設定する場合は、「Version1」で書き出してください。 ✓ Internet Explorer11 で、Player1 で書き出された SCORM 対応コンテンツを閲覧すると「警告メッセージ SCORM モードで起動しましたが、SCORM 初期化処理がタイムアウトしたため、SCORM 通信が不可能な状態です」と表示され、教材が開けません。

プレイヤーバージョンを指定するには、スタートページで【設定】ボタンをクリックし、「プレイヤー設定（コンテンツ書き出し時のプレイヤーバージョン）」でバージョンを選択します。

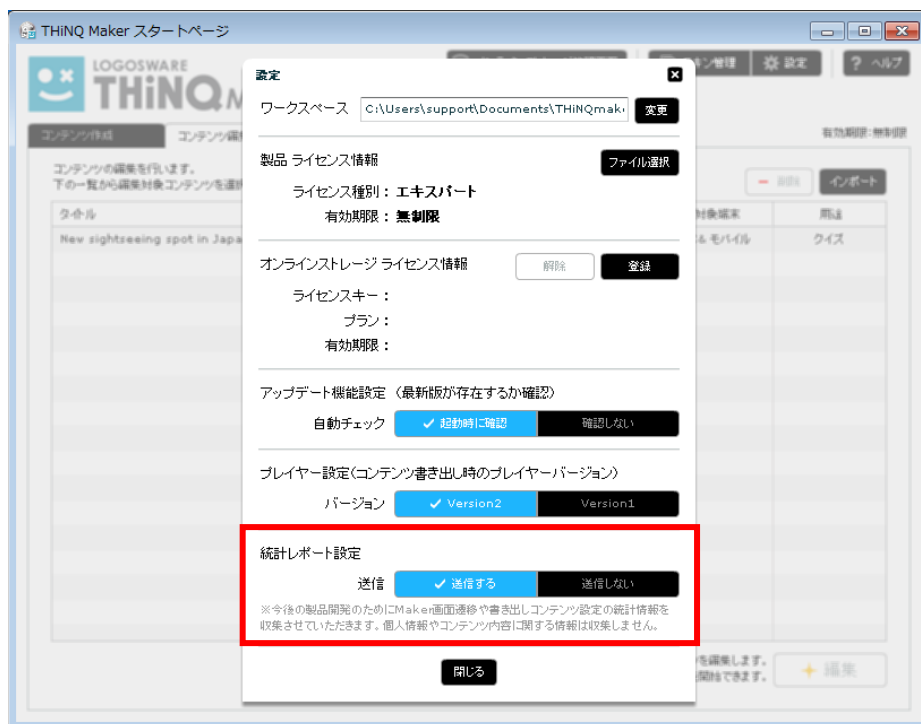
これ以降に書き出されたコンテンツは指定のプレイヤーで書き出されます。



A7. 統計レポート設定

統計レポート機能は、今後の製品開発のために、ご利用の画面遷移や書き出しコンテンツ設定の統計情報を収集するものです。個人情報やコンテンツ内容に関する情報は収集しませんので、ご協力をお願いいたします。

レポートを送信しないようにするには、スタートページで【設定】ボタンをクリックし、「統計レポート設定」で「送信しない」を選択します。



付録 B (応用設定)

B1. インポート機能

一度 WEB 公開用で書き出したデータを、LOGOSWARE THiNQ Maker にインポート（読み込み）することができます。バックアップなどに便利です。

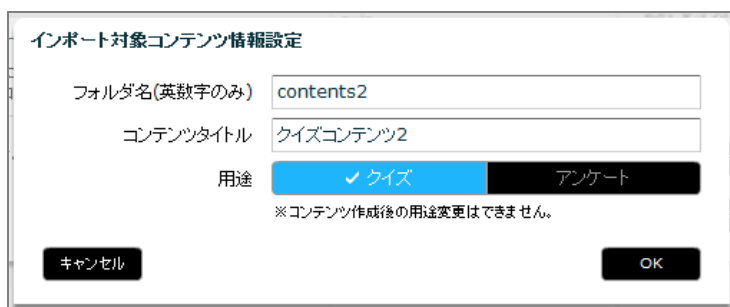
1. 「スタートページ」画面の [コンテンツ編集] タブをクリックします。
2. 【インポート】ボタンをクリックします。



3. 【参照】ボタンをクリックして読み込むコンテンツを選択します。その後、【OK】ボタンをクリックします。



4. [フォルダ名]、[コンテンツタイトル]、[用途] を設定し、【OK】ボタンをクリックします。



5. 完了メッセージが表示されますので、【OK】ボタンをクリックします。クリックすると、コンテンツ編集の一覧にコンテンツが追加されます。

B2. コンテンツのテンプレート作成

作成した基本設定や問題データ設定をテンプレートとして保存し、新規作成時の手間を削減します。

1. 「コンテンツ設定」画面のテンプレート【保存】ボタンをクリックします。



2. タイトルと説明を入力します。入力後、【保存】ボタンをクリックします。

テンプレートとして保存

現在編集中のコンテンツデータをテンプレートとして保存します。

タイトル

説明

3. 「スタートページ」のコンテンツ作成タブにテンプレートが表示されます。このテンプレートを選択した状態で【新規作成】すると、テンプレートと同じ状態で新規作成をスタートできます。



- ✓ 下部にテンプレートの説明が表示されます。

B3. CSV による問題一括登録

CSV ファイルから問題を一括登録することができます。詳細は以下を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/210/>



- ✓ バージョン 1.9.3 以降で【CSV 出力】すると、CSV 出力で HTML 装飾を除去する / 除去しないを選択するウィンドウが表示されます。HTML 装飾の情報が不要な場合は、【はい】を選択することをおすすめします。



B4. 問題データ読込/出力（問題ごとの流用・バックアップ）

選択した問題を出力して外部データファイルへ出力できます。

問題データのすべての設定（画像／音声／動画データ等すべて）が出力できるので、別のコンテンツでの流用や、問題のバックアップで便利です。

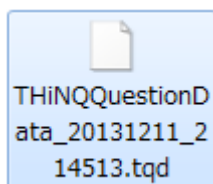
- ✓ この機能では、問題の全設定をファイル出力するため、CSV 入力／出力と違い、画像・音声・動画データおよびドラッグ&ドロップ形式問題等もすべてそのままファイル出力されます。

B4-1. 問題データ出力

1. 出力する問題を選択します。以下の方法で、複数の問題を選択できます。
 - ・ 問題リスト上の問題データを[Ctrl]キーを押しながらクリックする
 - ・ [Shift]キーを押しながらクリックする



2. 【 問題データ出力 】 ボタンをクリックします。
3. データが出力されます。ファイルの拡張子は「.tqd」です。



B4-2. 問題データ読込

1. 【問題データ読込】ボタンをクリックし、読込むファイルを選択します。

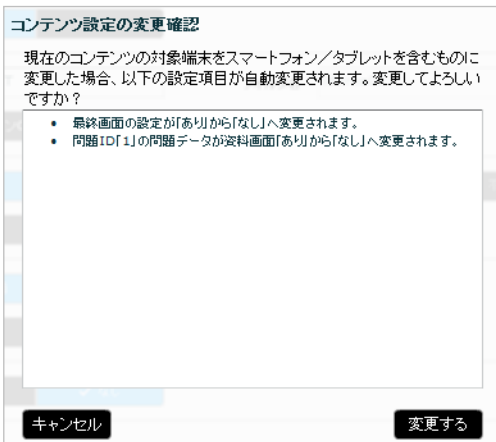


✓ 読み込み可能なファイルは、拡張子が「.tqd」のものだけです。

2. データが読み込まれます。既存の問題がある場合は、末尾に追加されます。



対象端末「PCのみ (Flash)」のコンテンツでしか設定できない内容が含まれているデータを読み込むと、「自動設定変更確認」ウィンドウが表示されます。



B5. コンテンツ埋め込み機能

ブログやサイト等に THiNQ コンテンツを簡単に埋め込むことができます。
以下は、ブログに埋め込んだ THiNQ コンテンツを閲覧している例です。

Flash コンテンツの場合)

実際に操作できる、小さな THiNQ コンテンツを埋め込みます。

【別ウィンドウで開く】をクリックすると、別タブ（ウィンドウ）にて、コンテンツを開きます。

HTML5 コンテンツの場合)

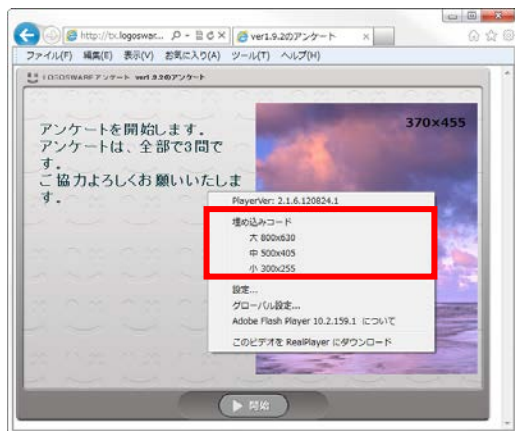
画像が表示され、画像をクリックするとコンテンツを新しいウィンドウで開きます。

1. 通常通り、Web サーバーに THiNQ コンテンツをアップロードします。
2. 埋め込みコードを入手します。

- Flash コンテンツの場合)

アップロードした THiNQ コンテンツ上で右クリックします。

右クリックメニューからお好きなサイズの埋め込みコードを選択します。



- ✓ 以下の条件を満たした THiNQ コンテンツの場合だけ、埋め込み用コードメニューが表示されます。

- ➡ Web 用書き出し (SCORM 書き出し以外)
- ➡ Web サーバーへアップしたコンテンツ

- HTML5 コンテンツの場合)

以下のコードの必要な箇所を変更して利用します。

```
<iframe width="800" height="630" frameborder="0" scrolling="no"
marginheight="0" marginwidth="0" src="http://コンテンツ URL を指定
/embed.html"></iframe>
```

- ➡ src でコンテンツの URL を指定します。

- ✓ URL として「index.html」ではなく、「embed.html」を指定してください。「embed.html」を指定することで、「別ウィンドウで開く」ボタンが表示されます。
- ✓ width、height で表示サイズを指定します。
大 : width="800" height="630"

中：width="500" height="405"

小：width="300" height="255"

3. ブログ、SNS、Web サイトの HTML にコピーしたコードを貼り付けます。

ワンポイント

iframe の横幅を CSS で指定しているサイトの場合、CSS の指定よりも大きなサイズで THiNQ コンテンツを埋め込むと自動縮小されます。

- ✓ 上記の動きにより、埋め込みコード大 800 × 630 を WordPress に貼り付けると、**【別ウィンドウで開く】**ボタンがコンテンツ画面から少し離れて表示されます。



B6. コンテンツを CD/DVD で配布する

B6-1. オフライン閲覧キットを使用する方法

- ✓ HTML5 コンテンツをオフライン閲覧キットで閲覧する場合、オフライン閲覧キットの ver1.3.0 以降のご利用が必要となります。

コンテンツデータをローカル実行するための有償キットです。

複数コンテンツを配布することができます。以下を参照してください。



公式サイト <http://suite.logosware.com/suite/offlinekit/>

体験版ダウンロードサイト <https://learning.logosware.com/soft/offline-kit>

B7. コンテンツを連結する

B7-1. コンテンツの連結とは

STORM コンテンツ（※1）と THiNQ コンテンツ（※2）を連結することができます。

STORM で学習したあと、THiNQ で理解度確認のテストを行ったり、また、逆に THiNQ でテストを行って、テスト結果に応じて STORM の学習内容を振り分ける使い方も可能です。

コンテンツの連結は、両コンテンツとも Web サーバーまたは LOGOSWARE オンラインストレージにアップロードされている場合に限りです。

✓ 学習管理システム (LMS) にアップロードされたコンテンツでは連結は行えません。

※1 STORM Maker で作成したコンテンツ（以下、STORM コンテンツ）

※2 THiNQ Maker で作成したコンテンツ（以下、THiNQ コンテンツ）

B7-2. リンク先コンテンツへの引き渡し機能

リンク先コンテンツへの引き渡し機能を利用すれば、先のコンテンツを閲覧する際に入力したパスワード、及び、ユーザー入力情報（スコア機能）を、連結された次のコンテンツに引き渡すも可能です。

情報を引き渡すことで、受講者は連結された次のコンテンツで再度入力する手間が省けます。具体的な連結方法につきましては、次節で説明します。

✓ リンク先コンテンツへの引き渡しは STORM Maker 1.12.2 以上、THiNQ Maker 1.11.0 以上で書き出されている必要があります。

B7-3. 連結されたコンテンツを作成する

STORM コンテンツと THiNQ コンテンツの連結方法は「コンテンツ連結の設定方法」をご参照ください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/583/>

付録 C (仕様)

C1. Flash コンテンツと HTML5 コンテンツの違い

HTML5 コンテンツは、一部の設定が使用できません。

- ✓ 対象端末を変更した場合、制限された機能が有効になっていると、変更の確認メッセージを表示してから自動的に設定変更を行います。

HTML5 コンテンツは、以下の制限があります。

項目	制限内容
全般	
画像全般	SWF ファイルは設定できません。
テキスト全般	<ul style="list-style-type: none"> ● フォントサイズ、および、斜体設定が無効化されます。 ● 改行や半角スペースだけの行は非表示となります。（空行をいれたい場合は、全角スペースを入力してください） ● ルビ機能を使用しているコンテンツを Android 4 未満の端末で閲覧した場合、ルビはテキスト後部に括弧書きで表示されます。iOS 4.3 以上/Android 4 以上の端末で閲覧した場合には、PC 閲覧時と同様にテキスト上部にルビが表示されます。
スキンセット/ レイアウト	選択は無効となります。 HTML5 コンテンツの見た目は 1 種類です。
コンテンツ設定	
最終画面	設定できません（「なし」固定です）。
問題設定	
資料画面	設定できません（「なし」固定です）。
選択肢タイプ	ドラッグ&ドロップは利用できません。
音声、動画の解答開始タイプ	「画面表示直後」固定です。
自動再生開始秒数	設定できますが、Flash 版のみ有効です。

問題非表示設定	設定できますが、Flash コンテンツのみ有効です。
問題選択肢設定	
選択肢音声／動画	設定不可。テキスト／画像のみ設定できます。
選択肢テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ● フォントサイズ、および、斜体設定が無効化されます。 ● 改行や半角スペースだけの行は非表示となります。 (空行をいれたい場合は、全角スペースを入力してください)
選択肢タイプ： テキスト入力	設定無効です。入力可能文字タイプ「制限なし」固定です。
解答テキスト入力の設定	設定無効です。入力可能文字数「0」固定（制限なし）です。
書き出し設定	
終了ボタン表示	設定にかかわらず親ウィンドウの有無を自動識別して、親ウィンドウがある場合に【閉じる】ボタンが表示されます。
表示サイズ設定	設定無効です。閲覧時のブラウザサイズに合わせて表示します。

その他の注意点

- Internet Explorer で HTML5 コンテンツの音声や動画を再生するときは、スピーカー、イヤホンなどが接続されている必要があります。
利用可能なものが一つもない場合、音声や動画を再生できません。

C2. コンテンツ用途「アンケート」について

コンテンツ用途「アンケート」に設定したコンテンツは、アンケート用途に最適になるよう、以下の項目を強制的に設定します。また、コンテンツ上の表示がクイズ用途の場合と異なります。

項目	強制的に設定される内容	コンテンツ上の表示
コンテンツ設定		
判定モード	最後一括	判定ボタン・画面は表示されません。
解説画面	なし	解説ボタン・画面は表示されません。
出題設定	全問出題	—
シャッフル出題	なし	—
合格点	0	合格点は表示されません。
各問題設定		
配点	— (変更されません)	配点は、表示されません。
採点対象	対象外	採点結果は表示されません。
その他		
<ul style="list-style-type: none"> ● HTML5 コンテンツの結果画面表示がアンケート用の表示に変更されます。(点数/正解率/合否の表示なし、ボタンやラベル等の表示変更) ● SCORM1.2 書き出しの場合、LMS への結果データ送信時に lesson_status は「completed」を送信します。 ● SCORM2004 書き出しの場合、LMS への結果データ送信時に completion_status は「completed」、success_status は「passed」を送信します。 		

C3. LMS 利用時の注意点のまとめ

ここでは、LMS で THiNQ コンテンツを利用する際に確認していただきたいことを紹介します。

- THiNQ コンテンツの SCORM 対応については、以下を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/326/>
- THiNQ Maker の問題 ID は作成した順に自動生成される為、出題順を入れ替えた場合など ID の並び順が「1,5,3・・・」のようになります。LMS にはこの順番で回答が記録されてしまいます。「1,2,3,・・・」のように記録したい場合は、以下の手順を参照してください。
<http://doclib.logosware.com/content.html#!/154/>



- THiNQ コンテンツは、以下のタイミングで「受講完了」情報を LMS に送信します。
 - 判定モード「1問ごと」設定のコンテンツの場合：
すべての問題の「判定する」ボタンをクリックした直後。
つまり回答漏れに気づかずコンテンツを終了しても、「途中でやめた」ことになり、完了になりません。
 - 判定モード「最後一括」設定のコンテンツの場合：
最後の「判定する」ボタンをクリックした直後。
つまり、最後の「判定する」ボタンを押し忘れてしまった場合、「途中でやめた」ことになり、完了になりません。

✓ 注意)

なお、書き出し時に設定する「一次保存機能」が OFF になっている場合、途中の回答結果が保持されず、すべて再回答する必要があります。「一次保存機能」ON にしている場合は、途中でやめたとしても内容は保持されています。

- 中断時の回答内容「一時保存あり」は、判定モード「1問ごと」でご利用になることをお勧めします。

「一次保存あり」の機能では、判定確定済みの問題の次から再開します。判定モード「最後一括」の場合は、判定が確定していないため必ず初めの問題から再開します（ただし、受講者が回答した内容は保存されています）。判定済みの次から再開したい場合は、「1問ごと」をご選択ください。

判定モード「1問ごと」の設定例)



中断時の解答内容「一時保存あり」の設定例)



- iframe でコンテンツを囲むと、スマートフォンで表示が乱れる可能性があります。

対応策については以下を参照してください。

<http://doclib.logosware.com/content.html#!/297/>



1 ユーザーが、1 コンテンツにつき保存できる解答量には、制限があります。一般的な SCORM 準拠 LMS の場合、保存しておける解答内容の量は 4,000 文字までとなります。選択肢式問題（択一プッシュ／択一ラジオボタン／○×解答）であれば、1 コンテンツ約 400 問分となります。ロゴスウェア株式会社の LMS:Platon をお使いの場合、1,000 問分以上を保存することができます。

各問題形式別の解答内容保存サイズ

択一プッシュ／択一ラジオボタン／○×解答	約 10 文字
複数選択チェック	選択肢数に依存。4 選択肢で約 25 文字
ドラッグ&ドロップ	目安としては約 100 文字前後。ドラッグ選択肢数／ラベル文字数／ドロップイングループの数に依存。
テキスト入力	入力したテキストの文字数に依存。マルチバイト文字および記号は URL エンコードして保存されるため、実際に入力した文字数の約 15 倍の文字数を必要とします。

お問い合わせ・更新履歴

お問い合わせ

お問い合わせの前に

「FAQ」を確認していただくことで、解決する場合がございます。
それでも解決しない場合はお手数ですがお問い合わせ窓口までご連絡ください。

【FAQ】 <http://suite.logosware.com/thinq-maker/support/faq/>

お問い合わせ窓口

製品に関してご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

製品名： クイズ作成ソフト THiNQ Maker
URL： <http://suite.logosware.com/thinq-maker/products/>
E-mail： support@logosware.com
TEL： 03-5818-8011
受付時間： 10:00～18:00（土日、祝祭日は除く）

ロゴスウェア株式会社 <http://www.logosware.com>

【東京オフィス】〒110-0016 東京都台東区台東 4-13-21 TOWA SKY BLDG3F

更新履歴

THiNQ Maker 自体の更新履歴は、リリースノートをご覧ください。

<http://suite.logosware.com/thinq-maker/errata/>

マニュアルの改版履歴は以下の通りです。

～第 20 版	省略
第 21 版	2015 年 6 月 1 日 製品バージョン：1.11.0 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● 結果画面「得点別結果画面」を追記 ● ユーザー情報入力の仕様変更にもなう修正 ● オンラインストレージ管理画面の内容を修正 ● コンテンツの連結を追記
第 22 版	2015 年 8 月 31 日 製品バージョン：1.12.0 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● 動作環境を修正 ● 「抽出出題」仕様変更に伴う修正 ● スコアに関する詳細説明を削除。（スコア操作マニュアルへ誘導）
第 23 版	2015 年 11 月 20 日 製品バージョン：1.13.0 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● 動作環境を修正 ● HTML5 コンテンツ作成機能を追記
第 24 版	2016 年 3 月 7 日 製品バージョン：1.13.1 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● プレビュー機能の仕様変更に伴う修正 ● 閲覧側の動作環境に Edge を追加
第 25 版	2016 年 9 月 16 日 製品バージョン：1.13.3 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● 閲覧者側の動作環境を変更
第 26 版	2017 年 10 月 12 日 製品バージョン：1.13.4 以降 <ul style="list-style-type: none"> ● SCORM 通信オプションの設定を実装 ● 推奨動作環境を変更